

第9回あづみのパークコミュニティ会議概要

- 1 日 時 平成31年1月30日（水） 午後2時から午後4時まで
- 2 会 場 国営アルプスあづみの公園管理センター2階会議室
- 3 出席者 安曇野穂高温泉旅館組合 組合長 辻谷 洋一
安曇野ペンション協議会 理事長 薄井 満介
安曇野市観光協会 副会長 太田 謙
安曇野市商工会穂高支所 支所長 平川 博章
岩原の自然と文化を守り育てる会 代表 百瀬 新治、事務局長 南 健児
堀金岩原区 代表区長 齋藤 正廣
穂高牧区 区長 寺島 啓二
安曇野案内人倶楽部 代表 等々力 秀和
国土交通省関東地方整備局 長野国道事務所 公園課長 篠遠 富恵
国営アルプスあづみの公園管理センター 管理センター長 緒方 京一、企画広報課長 内田 利幸
安曇野建設事務所 所長 飯森 正敏、維持管理課長 西山 広一、維持管理担当係長 宮澤 俊吉
烏川溪谷緑地 環境管理事務所 所長 佐々木 俊之
長野県都市・まちづくり課緑化信州フェア推進室 主任 大村 一、主任 兼井 聖太
安曇野市 商工観光部 観光交流促進課 課長 望月 淳利
..... 教育部 文化課 主査 水谷 優美
..... 都市建設部 部長 横山 正、都市計画課 課長 久保田 薫
..... 課長補佐 中田 徹、主査 御子柴 昌善
- 4 会議概要 作成年月日 平成31年2月20日

協議事項等

- I. 会議の概要
- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 会議事項
- (1) 国営アルプスあづみの公園からの情報提供
- (2) 県営烏川溪谷緑地からの情報提供
- (3) その他の情報提供
- (4) 全国都市緑化信州フェア開催に合わせたスタンプラリーについて
- (5) 意見交換
- (6) その他
- 4 閉会
- II. 議事の概要
- 1 開会
- 薄井副会長
- 2 あいさつ

辻谷組合長

お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。信州花フェスタ2019が4月の25日からですか、向けて本日が開催前最終の会議ということになりますので、慎重審議のほどをお願い致したいと思っております。今日はよろしくお願ひいたします、

篠遠長野国道事務所公園課長

私、長野国道事務所の公園課長をしております篠遠です。どうぞよろしくお願ひします。本来でしたら、うちの大里副所長が挨拶をするという形なのですが、体調不良ということで申し訳ありませんが、代わって私がご挨拶をさせていただきます。

日頃より、皆様方には公園の事業につきまして、繰り返しご協力をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。おかげさまで公園につきましても、今年度1月20日現在で昨年よりも9千人ほど入園者を上回っているという状況で、44万2千人になっているということでございます。約8.4%の増加という状況でございます。これは特に春先、特に菜の花ですとか、チューリップの認知度が上がってきたということで、4月につきましては昨年の約2倍位の入園者増になっております。夏につきましても、昨年に比べて今年度の特に夏、この時期は天候が悪かったのですが、全般的に天候が良くなったということで、8月につきましても、過去最高という状況でございます。それとイルミネーションですが、イルミネーションにつきましても低迷が続いていたようなんですが、今年につきましては、企画競争と11月1週間早めに開催したというところもありまして、両地区とも15%位の増加という状況で、少し盛り返してきたという状況でございます。

このほか、昨年の4月から全国一律なのですが、入園料金の一部、こども無料化ということで、中学生以下につきましては1年間の試行としまして、入園料無料と。若干その代り、大人料金410円が450円に値上げさせていただいたのですが、その辺の影響ですとか、特にうちの公園につきましては、2地区ありまして、2日券の投入というところが、入園者増にもつながっているのかなというところがございます。また、この入園料の試行につきましては4月以降につきましても、緑化フェアの期間中、中学生以下無料ということが続くこととなりますので、また引き続き地域の皆さま方に公園学習ですとか、行事等で公園使っていただければという風に考えております。

それからあと、毎年春に行われます、アルプスあづみのセンチュリーライドが今年度で10年目を迎えます。今年度新たに堀金・穂高スタートで80kmと120kmで緑のセンチュリーライドで新たなスタートで、大体750人位増加になっておりますが、今までは主にやっぱり松本ですとか、宿泊が多かったのですが、それが安曇野の方にもかなり宿泊者が増えたということで聞いてございます。また、今年につきましては、桜と緑、両大会につきましても堀金・穂高スタートになりますので、両大会とも約750人位のプラスになるかと思っております。

最後に、会長さんも言われましたが、今年は全国都市緑化フェア、信州フェアが開催されます。公園としましても、県外から多くのお客様が来られますが、サブ会場として長野県さん、それから安曇野市さん等々と協力しながら開催を盛り上げていきたいと思っております。特に公園側としましては、チューリップが昨年は24万球ですが、フェア効果合わせて38万球。プラスあとユリの開花リレーというところで考えてございます。また期間中、月曜日が休園日になってございますが、その月曜日につきましても、期間中につきましても全て開園するというように対応させていただきますので、またよろしくお願ひしたいと思っております。簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。よろしくお願ひします。

飯森安曇野建設事務所長

皆さまこんにちは。安曇野建設事務所長の飯森正敏でございます。本日お集まりの皆様には日頃から、私ども安曇野建設事務所に対しまして格別のご支援・ご協力をいただいております。本当にありがとうございます。感謝を申し上げたいと思います。

さて、本年度の烏川溪谷緑地の来園者数ですが、約4万人ということでございます。昨年が3万強とあったところございまして、特に7月8月にですね、8500人ほど増えました。多分、天気が良くて大変暑い夏であったので、都内から涼を求めて来られた方がその原因ではないか、このように思っております。さきほどから出ておりますけれども、いよいよ第36回全国都市緑化信州フェア開園が迫ってまいりました。来場者を万全の態勢でお迎えできるよう、本日このような会議を通じまして、皆さま方としっかり打ち合わせ・情報共有を図りながら取り組んでまいります。

建設事務所の今の状況でございますが、まず道路管理者と致しまして、高速道路の安曇野インターから国営公園までのアクセス道路、ここの舗装の打ち替え、これは順調に進んでおりまして、既に何か所か施工済みでございます。今度のこの寒い時期を避けまして、フェアの開幕直前まで舗装の工事を行ってまいります。また、この下の山麓線烏川橋南の交差点改良です。先般、1月の22日にバイパスへと道路を切り替えました。まだ旧道との取り付けと言いますか、今の現道との工事等残っておりますけれども、交通が確保できるようになりました。公園のエントランスとなる県道の豊科大天井岳線につきましては、新聞とかテレビに出ておりましたが、交差点の所に南農の生徒さんによるミニ公園ができて、これも完成いたしました。沿道に設置いたします、フラワーポッド約400箱、これは既に植え付けが完了をいたしております。肝心の公園でございます。ベンチ、テーブル、園路あるいは防護柵、こういったものも新しくいたしました。また、水辺エリアでは反対の穂高地区に駐車場を新設いたしました。そして、森林エリアの砂利の駐車場、ここもアスファルトの舗装に打ち替えを致しました。このように、ハード整備につきましては、ほぼ完成を致しまして、準備は順調だと、このように思っております。

このような会議を通じまして、皆さま方と情報共有や意見交換を行っていくことが、安曇野市の地域振興の一助につながっていくのではないかと、このように考えております。そのためには、是非私どもの公園も更に利用をしていただきたいと思います。本日はよろしく願いたします。

横山安曇野市都市建設部長

皆さん大変お疲れ様でございます。都市建設部長の横山でございます。日頃より、安曇野市政の運営につきましてご理解とご協力を賜っていることに対しまして、改めて感謝を申し上げます。本日は第9回目のあづみのパークコミュニティ会議ということで、皆さまにはお忙しい中お集まりいただき大変ありがとうございます。

この会議は、情報交換をさせていただき、それぞれの活動をお互い理解しあいながら相乗効果をもたらす、ということでございまして、先程のご挨拶の中でもございますが、いよいよ第36回全国都市緑化信州フェアも本市で開催まであと85日となったところでございます。それぞれの公園、また、それぞれの事業活動の中を通しまして、このフェアをきっかけにさらにこの地域が活性化、盛り上がればという風に思っているところでございます。フェアにつきましては、長野県と中信4市との共同開催ということで、全国的にも初めてのケースということでございます。私ども安曇野市としましても、4市共々お客さん呼び込むためのお役だと思っておりますが、今日の会議は是非、安曇野により大勢の方が来て長時間滞在していただくことにつながればと考えておりますので、より一層の情報交換をさせていただければと思ってお

ります。また、今回フェアの開催期間中は、首長それぞれ申し上げておりますが、安曇野を訪れていただく一番良い時期だということで、4月の終わりでアルプスに残雪が残り、田園風景も水が張られて非常に良い景色だったり、リンゴの花も咲いたり、というところがございますので、安曇野の良さを是非、県内外の方に知っていただくという機会にしたい、という風に考えておるところでございます。

後程、市の準備状況を担当の方からご説明させていただきますので、よろしくお願ひしたいと思ひますし、一番は前々からお話をさせていただいております、市独自のスタンプラリーにつきまして計画のほうを練り込んでございますので、皆さまからのご意見をいただくなか、成功に収められればと考えているところでございます。本日はみなさんお世話になります、よろしくお願ひいたします。

3 会議事項

(1) 国営アルプスあづみの公園からの情報提供

ア 国営公園からの情報提供（長野国道事務所 篠遠公園課長）

お手元の資料、これまでの利用状況、こちらのほうご覧になっていただきたいと思ひます。1枚目上の右下の方に1ページと書かれました、こちらのほう説明させていただきます。これは年度ごとの、それぞれ地区ごと、堀金・穂高、大町・松川地区の地区ごとのこれまでの入園者数です。平成27年から29年位まで43万人前後というところで、30年度を見ていただきますと、先程ご説明させていただきました昨年度43万3千人に対しまして、30年度1月20日までですが44万2千人ということで既に昨年を上回っているという状況でございます。伸び率が8.4%増という状況です。下の棒グラフにつきましては、各月ごとの入園者数です。その中で特に今年度4月につきましては、例年の2倍位。これはやはり菜の花それからチューリップと、あわせて今年かなり春先陽気が良かったというところで、チューリップの開花等もかなり早くなって4月に伸びがきている。その分若干なんです、5月につきましては少し菜の花でもチューリップにつきましてもゴールデンウィークのところ少し厳しい状況になってきておりますので、若干減っていると。ただ、トータルとしましては、かなり伸びている状況でございます。それから夏につきましても、天候が良かったということで両地区合わせますと過去最高の人出となっております。それから、11月12月がイルミネーションの時期ですが、こちらの方につきましても、特に11月1週間早めたりとか、企画競争でイルミネーションの計画をさせていただいて、その中で堀金・穂高地区につきましては日本一長いイルミネーションのトンネルということで500m、大町・松川地区につきましては、ハート形の電飾を使って約500個をつけて、そこら辺も含めて両地区とも約15%位の伸び率になってございます。

1枚めくっていただいて3ページ目をご覧ください。これは先程のイルミネーションの写真でございます。右肩下がりになってきておりましたが、30年度両地区で約15.9%増8万3千人、それから堀金・穂高で16.5%、大町・松川地区で14.8%という状況でございます。これから各機関の状況ですが、4ページ目につきましてはお盆期間中の利用状況ということで、お盆の13日から16日までの利用者数ちょっと昨年より下回っているのは、丁度お盆期間中の3日間が天候不順であったということと、曜日の関係で土日を挟まなかった、12日が日曜日ということで平日ということもあって、利用者の方が少なくなっている。ただ、サマーイルミネーションにつきましては昨年より増えたり、特に水遊びですとか、大町のスプラッシュリバーですとか、こちらの方はかなり利用者が多くなってきて8月の過去最高という風につながっている状況でございます。

次の5ページをご覧になっていただきたいと思ひます。これはゴールデンウィーク期間中の利用状

況でございます。ゴールデンウィークにつきましては、新規開園などもありまして25年から右肩上がりです。今年度につきましても、過去最高の3万1千人、前年比で8%増という状況でございます。それから下段でございますが、アルプスあづみのセンチュリーライド。30年度で丁度10年目を迎える節目でございます。そこに参加者の推移の表の中、非常に見づらくなって申し訳ありませんが、30年度の全体数で3836人、これは桜・緑両方合わせた数字ですが、そのうちの上から2段目の県外というところをご覧くださいと、3443人ということで9割を超えていると、前日受付でほとんどの方は、県外の方は宿泊をされているという風に聞いております。それから下段の表につきましては、他県の状況ですと北海道、南は九州の方から参加されているという状況でございます。それとあと、31年今年につきましては、さらに昨年緑のセンチュリーライドのみ堀金・穂高スタートで約750人位が追加になっておりますが、来年につきましては、昨年と同様に750人位、80kmと120kmのスタートが堀金・穂高スタートになりますので、こちらの方でもまたさらに増えるという、トータルで4500人近くになるのではなかろうかという状況でございます。宿泊につきましても、かなり今年安曇野に宿泊された方が多かったと、また今年につきましては桜・緑とも宿泊の方が増えると思いますので、またよろしくお願ひしたいと思ひます。

あと先程も言ひましたように、公園の運営料金につきまして、また4月以降も中学生以下無料と2日券もそのまま継続ということになりますので、またよろしくお願ひしたいと思ひます。あと、公園の無料入園日。まだ実際には公表されておひませんが、今年も5月の3日4日の日無料入園日ということで対応させていただきたいと思ひます。併せて、2月の24日になりますが、国家的な事業で、天皇陛下の即位30周年の記念事業としまして、公園の入園料無料となりますので、またご利用いただければと思ひます。私の方から以上です。

イ 公園イベント等について（国営アルプスあづみの公園管理センター 内田企画広報課長）

お手元の資料をご覧ください。あづみの公園管理センターの31年度の維持管理計画について説明したいと思ひます。周辺の地域住民の皆さま、それから観光で訪れるお客様に安全快適に公園を満喫していただくために、北アルプスを背にした公園のポテンシャル、さらに安曇野地域の魅力を最大限に活用した地域連携事業やイベントを展開していきたいと考えています。繰り返しご説明にありました通り、4月25日から6月15日に関しましては、信州花フェスタということで、こちらがサブ会場になるということで、公園の既存の事業をこのフェアの一部として実施していきたいということで、積極的に関与させていただければと思ひております。事業展開・スケジュールに関しては、ご覧の通りでございます。

めくっていただきまして、春夏秋冬季節ごとのイベント概要をご覧ください。春に関しましては、さきほどの通り信州緑化フェアと連携し、花と緑をテーマにした、家族で思いきり楽しめるようなイベント展開を土日祝日を中心に考えていきたいと思ひます。この間、今年度はジュニアにおけるお客さまにご来園いただきまして、特に今ご説明がありました通り堀金・穂高地区に関しましては、菜の花・チューリップ大変人気がありまして、定着してきまして、多くのお客さま“よく穂高出来てるな”と言うような状況でございます。春に関しましては一番お客さまが集まるということもありまして、地域住民の皆さまには交通対策等、ご心配かけているところでございますが、そういった対策も講じながら公園運営していきたいと考えております。夏に関しましては、公園の北アルプスから流れてくる水を活用して水上アスレチックやニジマスのかみ取りなど、体験イベントを展開していきたいと

思います。特に、市では穂高プールが閉鎖になるということもありますので、こういった水遊び、しっかり泳げるわけではないんですが、水遊びでお客さまに楽しんでいただくような展開を取り組んでいきたいと考えています。それから、サマーイルミネーションに関しましては、31年度で4回目になりますが、安曇野の静かな夜と烏川溪谷の水、こちらを充分にお楽しみいただけるようにしていきたいと思います。このイルミネーションに関しましては、1万人を超えるお客さまに来ていただいておりますので、新しい安曇野の風物詩として定着できるようにしていこうと考えております。秋に関しましては、コスモスの花フェスタということで展開していきたいと思います。また、無料入園日もございますので、そこはアウトドアパークということで、安曇野地域でのアウトドア活動をお客さまに楽しんでいただけるようなイベント展開をしていきたいと思います。それから、ドッグランが新しくできていますので、ペットと楽しめる公園ということで、いろんなお客さまのニーズに応えられるような展開をしていきたいと考えています。

次のページに関しましては、ツインイルミネーションでございます。先ほど説明していただいた通り、日本一にこだわった展開を今年実施できました。70万球という球数が最大限に活用しまして、大町・松川地区と連携をして実施しております。近隣の宿泊事業者の皆さま等に、このイルミネーションを軸にして地域連携事業も展開していきたいと思っております。また、幼稚園児等にもイルミネーション点灯式などに参加していただいて、参加性の高いイベントとして、地域住民の皆さまのご支援も得まして、実施していければという風に考えております。このイルミネーションですね、今年度はそういった方針ということで、日本一にこだわった展開をしましたので、先程もご説明していただいた通り、8万人を超えるお客さまにご覧いただいております。写真が、左の方が500mの光のトンネル、右手が大町・松川地区で展開したハートのイルミネーションでございます。冬イベントに関しましては、今も実施しておりますが、インドアガーデンということで、左がチューリップ、右が菜の花の庭でございます。雨でも寒くても大丈夫ということで、あずみの学校と大きな博物館の建物を活用して、一足早い春を楽しんでいただける所でございます。続きまして、その他のところですが、都市緑化フェアの取り組みということで、サブ会場になっておりますので、我々もこの間、スプリングフェスタということで毎年イベント展開していますが、この緑化フェアにバージョンアップするなどして、積極的に協力・参画していきたいと考えています。緑化フェアの間にあります、一番大きなイベントですね、早春賦音楽祭でございます。こちらも緑化フェアのイベントの一部として位置付けていただきまして、県外のお客さまも増える時期でございますが、早春賦歌にゆかりのある安曇野地域のPRにもつながっているということで、今年も安曇野市観光課の皆さんや教育委員会の皆さん、地域の早春賦愛唱会の皆さんと連携しながら、成功に向けて努力していきたいと考えています。

めくっていただきまして、センチュリーライドのところでございます。こちらも先ほど説明していただいた通りでございますが、自転車事業に関しましては、安曇野市の皆さま方も積極的に活用していこうということで、市長さん以下推進しているところですが、大町・松川地区でございますが、大北地域でも県の北アルプス振興局さまの方で自転車利用に関しては活用していこうようなこともありますので、大町・松川地区も含めた中で、自転車事業をしっかりと我々も実施していきと考えているところでございます。それから、堀金・穂高地区の隣の烏川溪谷緑地、こちらは無料開園日には門扉を開放して、双方の往来ができるようにしておりますが、イベントもノルディックウォーキングなどのイベント展開も行いまして、引き続き連携していろいろな事業に取り組んでいきたいと考えていま

す。それから、地元との連携事業でございますが、公園が所在する地元の皆さまと一緒に自然や伝統文化に関する市民活動を推進していきたいと考えています。観光誘客事業でございますが、こちらも長野県をはじめとした観光機構さま、安曇野市の観光協会のみなさん、温泉郷のみなさん、ペンション協議会の皆さまと一緒に、安曇野地域に誘客するために皆さまと連携を図りながら営業活動を行っているということでございますが、我々のほうも花の見所や体験施設の一覧表など作成するなどしまして、積極的に大都市圏の旅行会社の方々にも、安曇野に来ていただくよう提案していきたいと考えております。それから、農家民泊事業でございますが、こちらの安曇野市をはじめ大町、松川の農家の皆さまと連携をしまして、農家民泊事業を推進しています。公園プロデュースによる事業展開でございます。国営公園のほか、地域の観光施設の立ち寄りも行程に入れていただくなどしておりますが、引き続きこちらの事業も積極的に取り組んでいきたいという風に考えています。地域文化伝承や自然資源活用の取り組みでございます。特に、テーマ展示館「あづみの学校」におきまして、天蚕を活用しましたイベント展開、そういったこともしておりますが、安曇野地域の景観や豊かな風土・文化の保全と創出に引き続き取り組んでいきまして、特にオオルリシジミに関しましては、保護対策会議の皆さまや、地元の南安曇農業高校の皆さまと連携して、貴重で希少な生き物や、それを育む環境保全に取り組んでいきたいと考えています。

先ほど、春の花修景ということで定着してお客さまが増えているというようなことを説明しましたが、最後のページがそのチューリップをはじめとした花修景の取り組みでございます。こちら先程の説明の通り、花フェスタと連携をするというなかで、フェスタの皆様にご協力いただきまして、チューリップの品種数・株数も増加して楽しんでいただけるというようなことで準備しているところでございます。それから、ゴールデンウィークを中心にした菜の花、夏に関しましてはヒマワリ・サンパチェンス、地元の花を活用した修景展開ですね、秋はコスモスの展示をしているというところでございます。以上でございます。

(2) 県営烏川溪谷緑地からの情報提供

ア 建設事務所からの情報提供（安曇野建設事務所 宮澤維持管理担当係長）

資料でございますが、A4横の烏川溪谷緑地工事概要図と書かれました2枚綴りのペーパーになります。そちらをご覧ください。

烏川溪谷緑地の工事概要図でございまして、左上に森林エリア、真ん中下に水辺エリアの模式図がございまして、平成29年度までに実施した事業を青で示させていただきまして、今年度実施したものを赤で、来年度以降実施というものを黄色で示させていただいております。当年度の赤い事業のところだけをご説明させていただきたいと思いますが、まず左上の森林エリアでございますが、森林エリアの駐車場今まで未舗装でありましたが、ここをほぼ全面アスファルト舗装で、あと快適性と環境への影響も考慮しまして透水性という形で舗装をさせていただいております。下の水辺エリアにつきまして、右側ですけれども、水辺エリアの下のところに左岸側の園路がございまして、園路とあわせて駐車場の整備を透水性の舗装にて実施してございます。それからあと、右岸側の木製の木道がありまして、かたざんろうみたいなのがありましたが、それを再生木材を使ったもので更新してございます。それから、駐車場の入口の所の園路の舗装も透水性舗装によって実施してございます。それから、下の真ん中ほどにありますが、ここが黄色になっておりますが、一応黄色で赤枠の印がしてございますが、これは現在継続中ということで解釈していただければと思いますが、環境管理事務所の周辺の舗装の更新と、北側の小野

沢駐車場からの園路の舗装も更新を、いま契約になったところでございまして、一応フェア前に舗装を終えるような予定で進めていきたいという風に考えてございます。

1枚めくっていただきまして、裏面に参りまして、烏川溪谷緑地の来園者数の推移をお示ししてございます。まず棒グラフでございまして、平成30年度が一番右側にございまして、平成30年度が12月31日現在の数字でございまして、3万9800人ということで、現時点で既に過去2番目、平成27年度に次いで2番目の来園者数が、多くのお客さまに来ていただいた状況でございまして。累計としましては、折れ線グラフの方に示させていただいてございまして、49万6200人ということでございまして。はじめの所長のあいさつにもございましたが、夏非常に暑い時期が続いたことありまして、7月8月の入場者が非常に多かったということが、この人数に反映されているかなという風に、平成27年度に関しましては、昨年来ちょっと説明はさせていただいておりますけれども、旅行会社のミステリーツアーの1か所に挙げられた関係上突出して多くなってございまして、そういった特別なあれが無い年としましては過去最高というような状況となっております。

次のページにいまして、信州花フェスタに対応しましての準備状況でございまして。これが県道の豊科大天井岳線の入口の部分でございまして。まず、右上にございまして、南農のDIYプロジェクトによりまして、石庭が製作されております。新聞等でも紹介しておりますけれども、石庭が完成しております、それからこれも新聞でも出ておりましたけれども、南農の生徒さんによりまして、フラワーポッド100個並べるとということで、既に苗付けを学校の方で準備しております、プランターの方に移植するようなタイミングになってきてございまして、まだプランター自体は学校の方にありますけれども、そこで育てていただいて、4月になりましたら入口付近に設置していただくというような準備でございまして。そうしまして、それから公園までの入口の部分でございまして、せっかく南農さんのところでやっていただけるとい話の中で、この公園の入口もうちょっと何とかしたいな、という思いはあったんですけども、タイミング良く公園財団さん、たまたま烏川溪谷緑地と国営公園さんが同じ指定管理者で財団法人公園財団さんをお願いしている訳でございまして、そちらの方から無料の苗の提供が入って、それで1400ポッドを無料で手に入れることができたということがございまして、せっかくだったらそれを利用しようじゃないかということで、フラワーポッド300を用意しまして、その準備状況ということで、その下の真ん中に写真がございまして、公園財団さんと長野国道さん、あと安曇野建設事務所の職員と三者で協力しまして、フラワーポッドに移植して今現在は国営公園さんの中で春を待っているというような状況になってございまして。ですので、4月になりましたら、このフラワーポッド300も、南農さんの準備していただけるフラワーポッドと同じような感じで、まだちょっと並べ方はどうしようかということで、いろいろ工夫が必要かもしれないのですが、一応そここのところに300を置くというような形で、一応ここの入口の部分は400個置かれるような状況に予定をしております。あと、左の下のところイメージ図ということで書いてございまして、こちらのほうが高木というんですかね、これが森林税を活用した植樹ということで、既にあそこの玄関口のところに植樹マスを作ったところに、コブシを17本ですか、既にこれ12月に植栽してございまして。この間にフラワーポッドが置かれるというようなイメージでございまして。以上が建設事務所からの情報提供でございまして。

イ 公園イベント等について（烏川溪谷緑地環境管理事務所 佐々木所長）

長野県烏川溪谷緑地都市緑化信州フェア期間中の行催事取り組みについて（案）ということで、ご説明をさせていただきます。資料につきましては、お手元にお配りしておりますA4縦の1枚の資料になっ

ておりまして、そちらをご覧ください。まず、期間中の開催の取り組みということで、平成30年度、今年度の丁度そのフェアの期間中に開催したものと、31年度に行おうとしている案の計画表ということで、資料を作成させていただいております。前回4月から6月までの間で回数にしまして5回、体験プログラム実施しておりますけれども、フェアの期間中につきましては、下の段になりますけれども、まだ案で調整中のものも確定しておりませんのでいくつか、数のほうが多くなっておりますけれども、今こういった内容で進めさせていただいております、実行委員会さんで行っていただくイベントも含めて12回ほど行っていきたいと、中には期間中イベントとしてカタクリウィークス・オオルリウィークスといったようなことで、地域の皆さまの要望を受けてですね、期間中に対応していくようなものを踏まえてですけれども、拡充して実施したいかなという風に考えて計画・準備を進めているところでございます。それと一番下の段になりますけれども、丁度フェアの終盤に近づくところではありますけれども、緑地の方の上のほうで苔の観察会といったものも計画されておりますけれども、バス会社の旅行企画ツアーのほうがお話をいただいております、6月12日16日につきましては、団体旅行がうちの方に来ていただけるというような情報も頂戴しておりますので、そういったものの対応も含めて、期間中対応してまいりたいという風に考えております。以上になります。

(3) その他情報提供・提案

ア 全国都市緑化信州フェアのイベントについての説明。ー詳細は別紙資料へ。

- ・メイン会場について。 (フェア推進室 兼井主任)
- ・サブ会場について。 (フェア推進室 大村主任)
- ・スタンプラリーの概要について。 (安曇野市都市計画課 中田補佐)

イ 市からの情報提供

- ・信州花フェスタ期間中の市の取り組みについての概要説明。
詳細は別紙資料へ。 (安曇野市観光交流促進課 望月課長)
- ・15回目を迎える早春賦音楽祭会場周辺で予想される交通渋滞についてのご理解・ご協力をお願い。
(安曇野市文化課 水谷主査)

ウ 構成団体からの情報提供

- ・安曇野屋敷林フォーラム、まちゼミ・まちなかカレッジ、百選かわら版についての説明。
詳細は別紙資料へ。 (安曇野案内人倶楽部 代表 等々力 秀和)
- ・岩原地区のガイドブックの説明。
詳細は別紙資料へ。 (岩原の自然と文化を守り育てる会 事務局長 南 健児)

(4) 全国都市緑化信州フェア開催に合わせたスタンプラリーについて (事務局提案)

- ・開催スケジュールと実施概要
- ・景品と抽選
- ・スタンプおよび台紙のデザイン
- ・周知用ポスターのデザイン案と配布場所
- ・PR方法と期間
- ・経費と支払方法

上記項目に対して事務局から説明後 (詳細は別紙資料へ)、参加施設、費用負担、運営方法、当選確率に対して意見・指摘が出された。

その後、事務局提案－全国都市緑化信州フェア安曇野市スタンプラリー 提案について承認
今後、官庁・民間との交渉を進め、内容面を詰めていき、進める。

(5) 意見交換

意見なし。

(6) その他

・猿害についての経過報告と今後の対策

昨年12月21日－岩原口から山に登っていく所にある、墓地の下の栗の木の所から猿の出入りを確認。

同23日－栗の木を伐採。その際、堀金口の門扉の周辺にも同じように出入りしている場所があるという報告を受ける。詳しい場所については不明のため、後日調査。

1月5日－出入り場所を確認。

同15日－同様に伐採。

今後何か申し出等あれば対応する。今のところは様子見状態。

- ・スタンプラリーについて、改めて各団体さまに再度ご説明させていただきたい。(事務局)
- ・次回のパークコミュニティ会議は6月の下旬頃を予定している。(事務局)
- ・イベント等で地域を盛り上げることは良いと思うが、地域住民のことももう少し考え、違法駐車や交通マナーに対して注意をしてほしい。

4 閉会

薄井副会長により閉会

第9回あづみのパークコミュニティ会議次第

日時：平成31年1月30日（水）午後2時から

場所：国営アルプスあづみの公園管理センター2階会議室

1 開会

2 あいさつ

3 会議事項

(1) 国営アルプスあづみの公園からの情報提供

- ア 国営公園からの情報提供 ・・・長野国道事務所
- イ 公園イベント等について ・・・公園管理センター

(2) 県営烏川溪谷緑地からの情報提供

- ア 建設事務所からの情報提供 ・・・安曇野建設事務所
- イ 公園イベント等について ・・・環境管理事務所

(3) その他の情報提供

- ア 全国都市緑化信州フェアについて
 - ・県緑化フェア推進室からの情報提供 ・・・緑化フェア推進室
 - ・市都市計画課からの情報提供 ・・・都市計画課
- イ 市からの情報提供 ・・・各担当部署
- ウ 構成団体からの情報提供 ・・・各構成団体

(4) 全国都市緑化信州フェア開催に合わせたスタンプラリーについて

・・・事務局

(5) 意見交換

(6) その他

4 閉会

構成団体名簿

敬称略、順不同

組 織 名等	所管施設／構成員等	備考
安曇野 穂高温泉旅館組合	割烹旅館天満閣、割烹旅館山彦、小岩岳旅館、山荘歩けつと、ダイヤモンドあずみ野温泉ホテル、檜湯の宿松柏、穂高ビューホテル、ホテルアンピエント安曇野、湯の宿常念坊、旅館山のたこ平	組合長 辻谷洋一 (旅館山のたこ平)
安曇野 ペンション協議会	お宿たんたん、セミナーハウス 花村、ペンション あるかす、ペンション ウィング、ペンション KEYAKI、ペンション ハーヴェスト、ペンション 花ことば、ペンション メープルリーフ、ペンション ラリーグラス、リゾートハウス クラレット、ログペンション さかい、ろっち 安曇野遊人	理事長 薄井満介 (KEYAKI)
安曇野市観光協会	安曇野市観光情報センター、山岳観光推進実行委員会	会長 丸山庄一
地元市営宿泊施設	指定管理者：(株)ほりで一ゆ～四季の郷	代表取締役 太田謙
安曇野市商工会 穂高支所		支所長 平川博章
岩原の自然と文化 を守り育てる会		代表 百瀬新治
堀金地域 岩原区		区長 齋藤正廣
穂高地域 牧区		区長 寺島啓二
安曇野案内人倶楽部	事務局所在地：「高松建築工房」	代表 等々力秀和
国土交通省関東地方整備 局長野国道事務所	国営アルプスあづみの公園	所長 吉見精太郎
国営アルプスあづみの 公園管理センター	国営アルプスあづみの公園 指定管理者：公園財団	管理センター長 緒方京一
安曇野建設事務所	県営烏川溪谷緑地	所長 飯森正敏
烏川溪谷緑地 環境管理事務所	県営烏川溪谷緑地 指定管理者：公園財団	所長 佐々木俊之
安曇野市役所		農林部 農政課 耕地林務課
		商工観光部 観光交流促進課
		教育部 文化課

あづみのパークコミュニティ会議出席者名簿

平成31年1月30日

敬称略、順不同

所 属	職 名 等	氏 名	備考
安曇野穂高温泉旅館組合	組合長	辻谷 洋一	会長
安曇野ペンション協議会	理事長	薄井 満介	副会長
安曇野市観光協会	副会長	太田 謙	
(株)ほりで一ゆ～四季の郷	代表取締役		
安曇野市商工会穂高支所	支所長	平川 博章	
岩原の自然と文化を守り育てる会	代表	百瀬 新治	
岩原の自然と文化を守り育てる会	事務局長	南 健児	
堀金岩原区	代表区長	齋藤 正廣	
穂高牧区	区長	寺島 啓二	
安曇野案内人倶楽部	代表	等々力秀和	
国土交通省関東地方整備局 長野国道事務所 公園課	課長	篠遠 富恵	
国営アルプスあづみの公園管理センター	管理センター長	緒方 京一	
国営アルプスあづみの公園管理センター	企画・広報課長	内田 利幸	
安曇野建設事務所	所長	飯森 正敏	
安曇野建設事務所維持管理課	課長	西山 広一	
安曇野建設事務所維持管理課	担当係長	宮澤 俊吉	
烏川溪谷緑地 環境管理事務所	所長	佐々木 俊之	
長野県都市・まちづくり課緑化信州フェア推進室	主任	大村 一	
長野県都市・まちづくり課緑化信州フェア推進室	主任	兼井 聖太	
安曇野市観光交流促進課	課長	望月 淳利	
安曇野市文化課	主査	水谷 優美	
安曇野市都市建設部	部長	横山 正	事務局
安曇野市都市建設部都市計画課	課長	久保田 薫	事務局
安曇野市都市建設部都市計画課	課長補佐	中田 徹	事務局
安曇野市都市建設部都市計画課	主査	御子柴 昌善	事務局

第9回「あづみのパークコミュニティ会議」 座席表

	安曇野建設事務所	安曇野建設事務所	安曇野建設事務所	安曇野建設事務所	会長	副会長	長野国道事務所	
烏川渓谷緑地 環境管理事務所								安曇野市観光協会
県庁都市・まちづくり課								(株)ほりで一ゆー四季の郷
県庁都市・まちづくり課								安曇野市商工会穂高支所
岩原区								安曇野案内人倶楽部
牧区								国営アルプスあづみの 公園管理センター
岩原の自然と文化を 守り育てる会								国営アルプスあづみの 公園管理センター
岩原の自然と文化を 守り育てる会								
	安曇野市 観光交流促進課	安曇野市 文化課	安曇野市(事務局) 都市建設部長	安曇野市(事務局) 都市計画課長	安曇野市(事務局) 都市計画課課長補佐	安曇野市(事務局) 都市計画課		

入口

あづみのパークコミュニティ会議規約

(目的)

第1条 本会は、国営アルプスあづみの公園堀金穂高地区、県営烏川溪谷緑地、及び安曇野市内で行われる地域の活性化に資する事業の情報交換と、コミュニティ（共同体）の形成を図ることを目的とする。

(事業)

第2条 本会は、前条の目的を達成するため次に掲げる事業を行う。

- (1) 地域の活性化に資する情報の提供に関すること
- (2) (1)の情報提供を踏まえ、両公園との連携可能な事業に係わる意見交換に関すること。
- (3) その他目的達成のために必要なこと。

(組織)

第3条 本会は、第1条の目的に賛同する団体をもって組織し、随時加入することができる。

(役員)

第4条 本会に会長及び副会長各1名を置き、会員の互選により定める。

- 2 会長は、本会を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときはその職務を代理する。
- 4 役員任期は3年とし、再任は妨げない。

(会議)

第5条 本会は、会長が召集し、会長が会議の議長となる。

- 2 会長は、必要があると認めるときは、会議に会員以外の者の出席を要請し、助言、中立な立場での調整等を求めることができる。

(庶務)

第6条 会議の事務局は、安曇野市都市建設部都市計画課において担当する。

(委任)

第7条 この規約に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

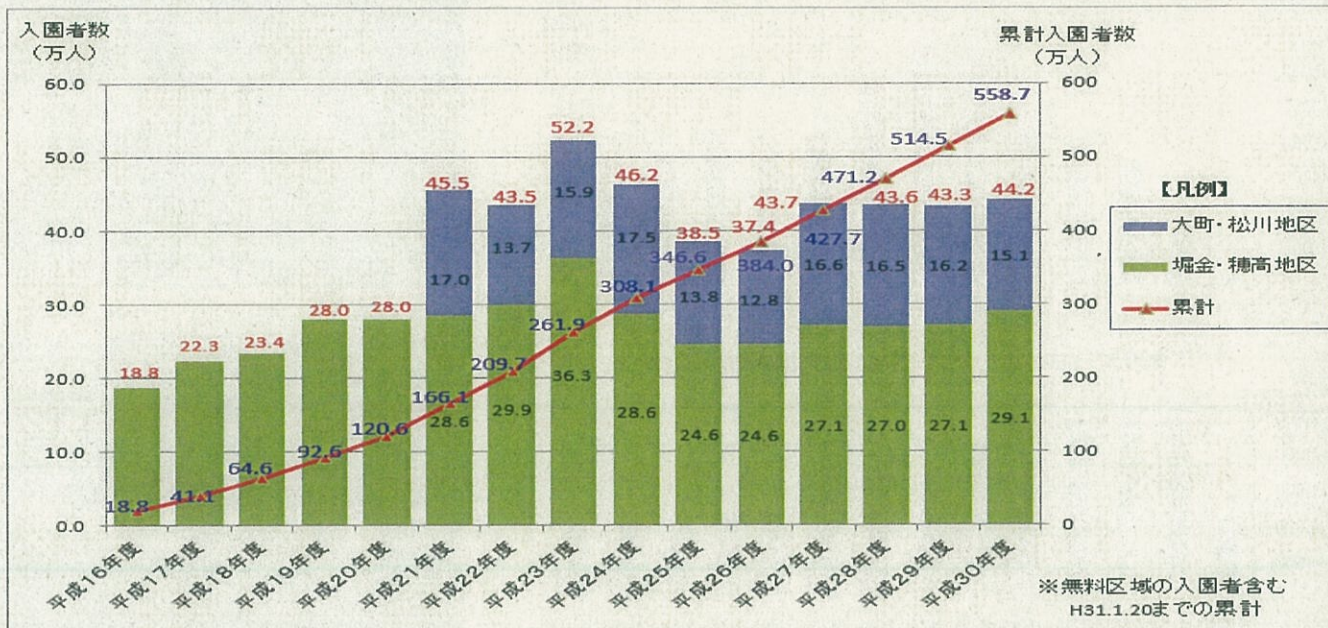
附 則 この規約は、平成27年3月12日から施行する。

これまでの利用状況（年度別）



草太 木子

- ・平成29年度の入園者数は約43.3万人（前年比3千人減 0.6%減）
内訳：堀金・穂高地区27.1万人（0.3%増）、大町・松川地区16.2万人（2.1%減）
- ・平成30年度の入園者数は、既に昨年度入園者数を越える44.2万人（8.4%増 1月20日現在）



1

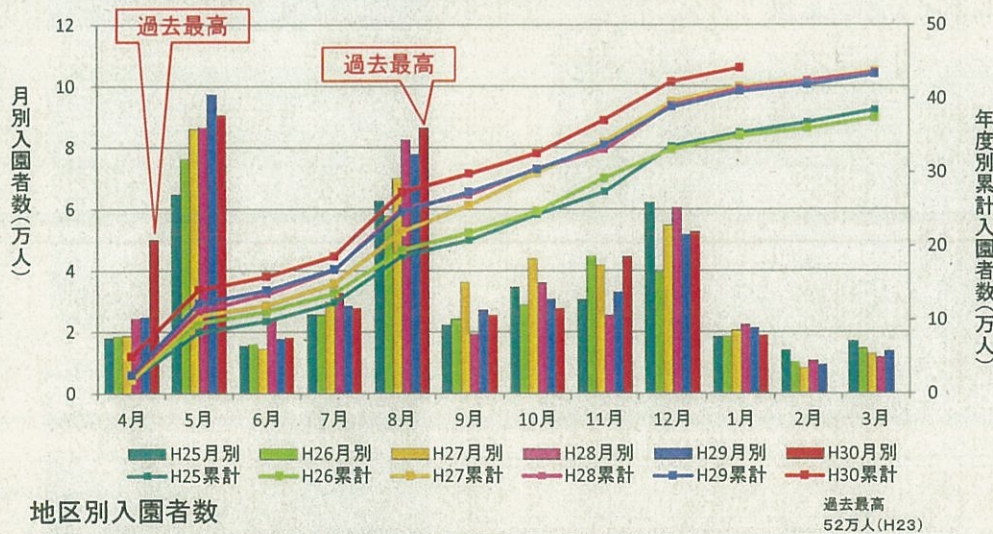
平成30年度の利用状況（月別）



- ・月別では4月、8月の入園者数が過去最高を記録
- ・11、12月はイルミネーションにより、9.7万人（前年比14.8%増）
- ・1月20日までの累計入園者は44.2万人（前年比8.4%増）

アルプスあづみの公園

月別入園状況と年間推移



地区別入園者数

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
堀金・穂高地区	286,488	246,169	246,219	271,019	270,172	271,013	291,281
大町・松川地区	175,439	138,433	127,864	166,140	165,436	161,929	150,556
両地区合計	461,927	384,602	374,083	437,159	435,608	432,942	441,837

H30年度の入園者数は1/20迄の累計



11/3より開催中のイルミネーション【堀金穂高地区】



H30.8 ツリーイングとスプラッシュバー【大町松川地区】



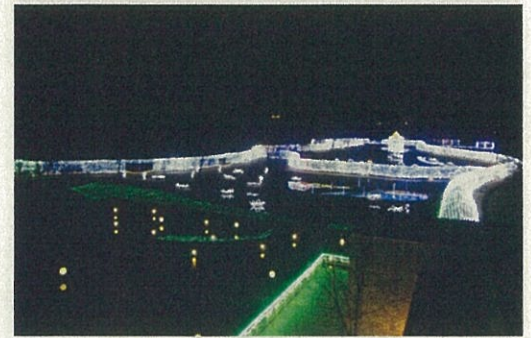
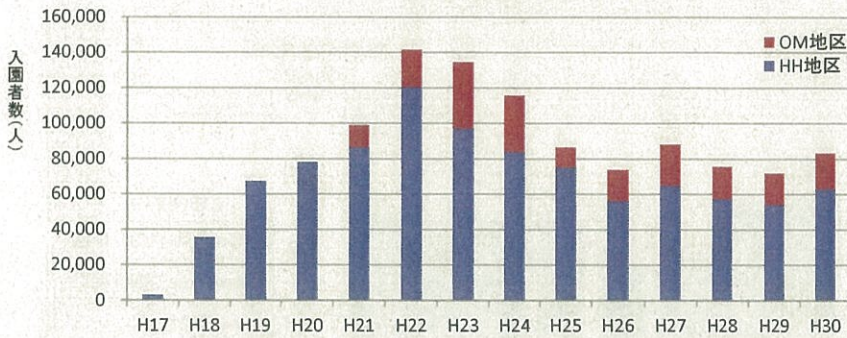
H30.4.23 チューリップと常念岳【堀金穂高地区】

2



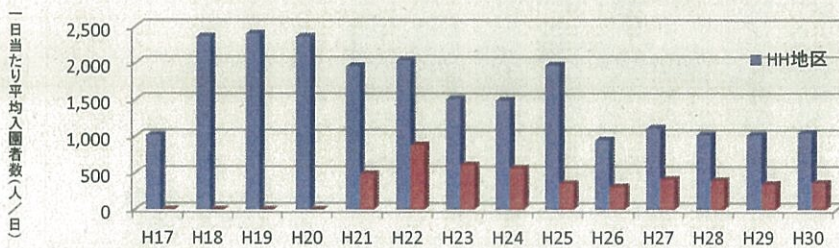
- ・イルミネーションは、県内に競合施設の増加により、H22をピークに減少傾向
- ・平成30年度のイルミネーションの利用者数は、**8.3万人(15.9%増)**に回復
HH地区:6.3万人(16.2%増) OM地区:2.1万人(14.8%増)

イルミネーション入園者数の推移(夜間のみ)



堀金穂高地区 イルミネーション(11/3~1/14 60日間開催)

年度別 1日のイルミネーションの入園者数(夜間のみ)



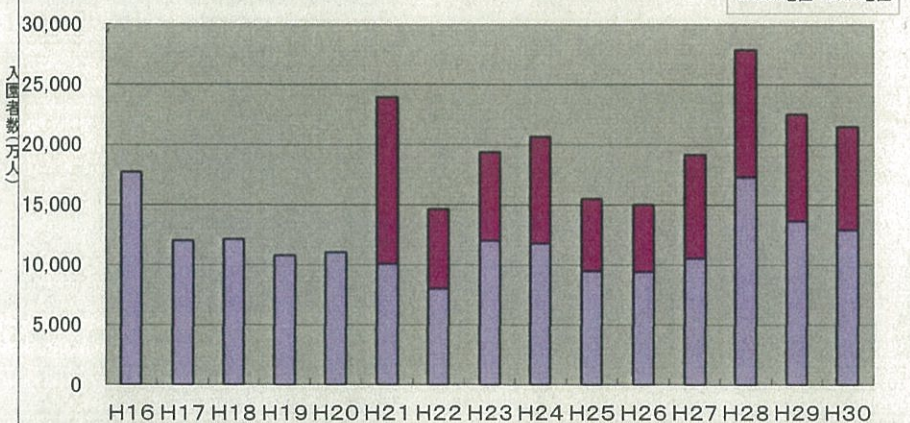
大町松川地区 イルミネーション(11/3~1/14 57日間開催)

お盆期間中の利用状況の推移



- ・お盆期間中(8/13~16)の入園者数は土日が含まれなかったことや天候不順により、前年比4.6%減の2万1千人
- ・サマーイルミネーション(8/10~19の夜間の入園者数)の入園者数は、前年比3.7%増の1万1千人(約0.4千人増)

お盆期間中(8/13~16)の入園者推移



堀金穂高地区 サマーイルミネーション(8/10~19)



堀金穂高地区 ニシマスのつかみ取り(7/14~8/26)



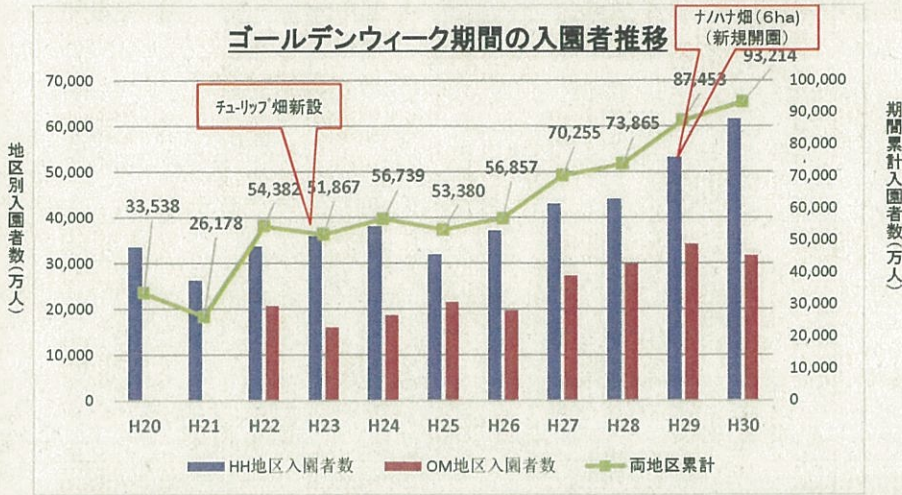
大町松川地区 ジップラインとスブラッシュリバー(7/14~8/26)

地区別入園者数(人)

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
HH地区	17,717	11,999	12,102	10,770	11,042	10,065	8,020	12,016	11,785	9,471	9,381	10,561	17,306	13,659	12,891
OM地区	0	0	0	0	0	13,889	6,581	7,379	8,856	5,994	5,620	8,606	10,574	8,843	8,572
合計	17,717	11,999	12,102	10,770	11,042	23,954	14,601	19,395	20,641	15,465	15,001	19,167	27,880	22,502	21,463
前年比	-	67.7%	100.9%	89.0%	102.5%	216.9%	61.0%	132.8%	106.4%	74.9%	97.0%	127.8%	145.5%	80.7%	95.4%

ゴールデンウィークの利用状況

- ・GW期間中の入園者数は過去最高の9万3千人(前年比7%増)
- ・5月4日は両地区の日入園者数過去最高 3万1千人(前年比8%増)、堀金・穂高地区の過去最高1万9千人(前年比2%増)



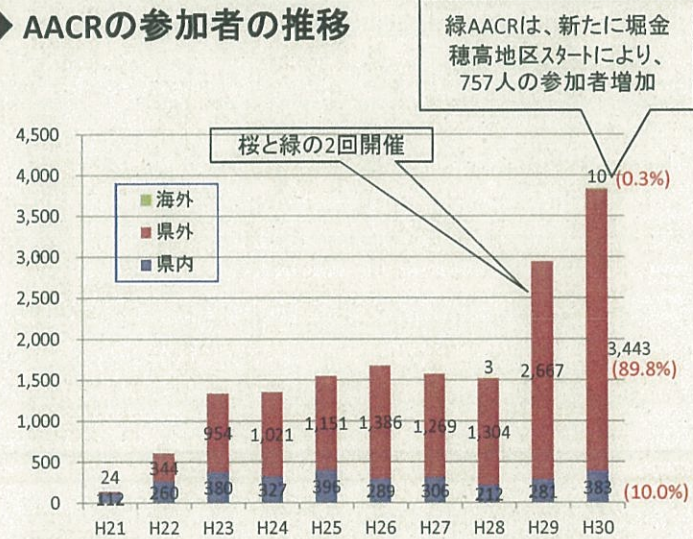
地区別入園者数

	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
堀金穂高地区	45,058	39,410	41,716	33,538	26,178	33,686	35,867	38,099	31,919	37,103	37,103	29,856	53,190	61,511
大町松川地区	-	-	-	-	-	20,696	16,000	18,640	21,461	19,754	27,323	29,856	34,263	31,703
両地区合計	45,058	39,410	41,716	33,538	26,178	54,382	51,867	56,739	53,380	56,857	64,426	59,712	87,453	93,214

※ゴールデンウィーク期間 4月27日～5月8日までの12日間を集計

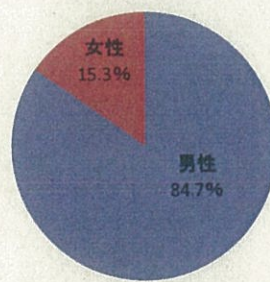
アルプスあづみのセンチュリーライドについて

◆ AACRの参加者の推移



- ・県外の参加者が約9割、殆どが近隣で宿泊
- ・穂高口スタートで757人増、安曇野市内の宿泊が増加
- ・チャリティ募金を募り、地域整備・福祉等に貢献
- ・NHK BS1「チャリダー」出演者参加・放映

男女別割合 (H21～30平均)



参加者の推移

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
県内	112	260	380	327	396	289	306	212	281	383
県外	24	344	954	1,021	1,151	1,386	1,269	1,304	2,667	3,443
海外	-	-	-	-	-	-	3	3	3	10
合計	136	604	1,334	1,348	1,547	1,675	1,575	1,519	2,948	3,836

他県からの参加状況

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
最北端	埼玉県	栃木県	栃木県	北海道	宮城県	北海道	北海道	宮城県	北海道	北海道
最南端	滋賀県	岡山県	福岡県	熊本県	福岡県	熊本県	大分県	大分県	熊本県	熊本県



アルプスあづみの公園管理センター
平成31年度 運営維持管理業務計画（案）について

1. 主旨

周辺の地域住民の皆様及び観光で訪れるお客様に安全・快適に公園を満喫していただくために、北アルプスを背景にした大自然に囲まれた公園のポテンシャル、さらに安曇野地域の魅力を最大限に活用した地域連携事業やイベント展開を図ります。なお、4月25日（木）～6月16日（日）の間「第36回全国都市緑化信州フェア『信州花フェスタ 2019』～北アルプスからの贈りもの」がサブ会場として開催され、公園の既存事業もフェアの一部として実施します。

2. 事業実施計画（案）

1) 季節ごとのイベント実施【堀金・穂高地区】

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
信州花フェスタ 2019	■	■											4/25～6/16
スプリングフェスタ	■	■											4/13～6/16
夏のアルプス大冒険				■	■	■							7/13～8/25
サマーイルミネーション					■								8/9～18
秋・コスモスの花フェスタ						■	■	■					9/14～10/14
光の森のパージェント								■	■	■			11月中 ～1月上旬
イドカーデーン										■	■		あづみの学校 1/2～2/16
キッズプレイパーク											■	■	あづみの学校 1/18～4/5

※現運営維持管理事業者の業務履行期間は2020/1/31までとなっている。

2) 地域連携事業の実施

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
都市緑化信州フェア	■	■											都市緑化信州フェア実行委員会
早春賦音楽祭		■											5/4実施 都市緑化信州フェアイベント 安曇野市、安曇野市教育委員会
AACR	■	■											4/21、5/26実施 都市緑化信州フェアイベント 安曇野市、大町市等
観光誘客	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	長野県、長野県観光機構、安曇野市観光協会、安曇野穂高温泉郷旅館組合、ペンション協議会等
農家民泊		■	■	■	■	■	■	■					安曇野市、大町市、松川村
文化の伝承	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	安曇野の自然と文化を考える会、安曇野クラフトゲート匠の社、みのむしの会
環境保全	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	南安曇農業高校、安曇野カリソミ保護対策会議、安曇野環境市民ネットワーク等

※現運営維持管理事業者の業務履行期間は2020/1/31までとなっている。

3. イベント事業

1) スプリングフェスタ (春季イベント期間)

春のチューリップやナノハナの開花時期に合わせてイベント展開します。信州緑化フェアと連携し花や緑をテーマにしたり、家族で思いっきり楽しめるイベントを土日祝日を中心に開催します。



2) 夏のアルプス大冒険 (夏季イベント期間) 7/13 (土) ~8/25 (日)

「ウォーターアドベンチャー」と題し、公園の資源である北アルプス山麓から流れる『水』を活用し、段々に広がる池面に設置した水上アスレチックやニジマスのつかみ取り体験等実施します。



※特別イベント「サマーイルミネーション」 8/9 (金) ~18 (日)

帰省中の方々や観光需要を喚起できるよう昨年に引き続き「サマーイルミネーション」を開催します。(31年度で4回目)安曇野の静かな夜と烏川渓谷の水の音を存分にお楽しみいただきます。



3) 秋・コスモスの花フェスタ (秋イベント) 9/14 (土) ~10/20 (日)

アウトドアパークⅠ (10/5・6 無料入園日)・アウトドアパークⅡ (10/12~14)

コスモスの花修景を背景にアウトドア体験やツリーイングの全国大会等実施します。ドッグイベント等も開催し幅広い利用ニーズを喚起します。



4) ツインイルミネーション『光の森のページェント』 11/2(土)～1/5(日)

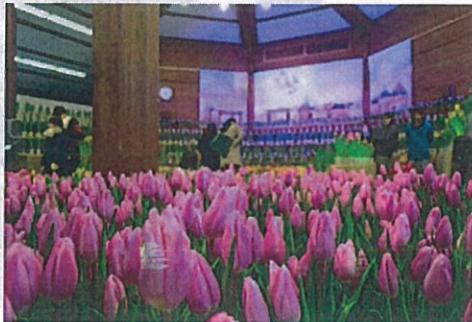
公園の資源である水(池)や森林の魅力を生かしたイルミネーション(約70万球)を開催。堀金・穂高地区とともに大町・松川地区とのツインイルミネーションとして実施し、近隣の観光・宿泊事業者の皆様とともに地域連携事業を展開します。また、近隣の幼稚園児等にはイルミネーションの点灯式への参加に協力していただき、地域住民の皆様参加を推進します。



5) 冬イベント 1月中旬～3月下旬

インドアガーデン(1月上旬～2月中旬 予定)

球根を特別な方法で冷蔵し、開花時期を早くしたアイスチューリップ1万球に続き、ナノハナ1万5千本を室内に展示。4月に開花するチューリップとナノハナをご紹介しますのと合わせ、一足早い春を演出します。



6) その他

①全国都市緑化信州フェアに向けた取り組み

「長野県松本平広域公園」をメイン会場に全国都市緑化信州フェアが開催されます(4/25～6/16)。『国営アルプスあづみの公園』は『長野県烏川渓谷緑地』とともにサブ会場として位置づけられています。公園で実施するイベントや花修景を「緑化フェア」バージョンとするなど積極的に協力・参画していきます。

②第36回全国都市緑化信州フェア 第15回あづみの公園早春賦音楽祭(5/4)

主催：実行委員会(安曇野市、安曇野市教育委員会、アルプスあづみの公園)

平成30年度年度は18,966人が来園、その内約3割が県外客とあって、童謡唱歌にゆかりのある安曇野地域のPRにもつながっています。都市緑化フェアのイベントとして位置づけます。

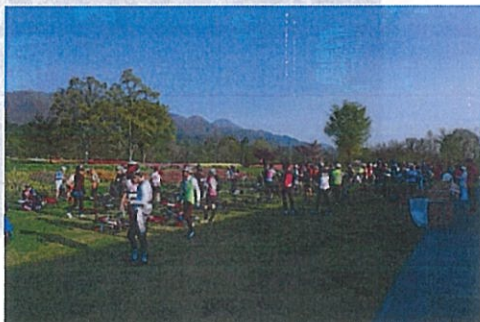




③アルプスあづみのセンチュリーライド（4/21・5/26）

主催：実行委員会（安曇野市、大町市、松本市、アルプスあづみの公園等）

平成31年度11回目となり国内有数の自転車イベントに成長しています。平成30年度は『桜のAACR』『緑のAACR』と2回実施（参加者3,814人）し、今年度は2回とも穂高スタートのコースを設け、地域連携事業として自治体、民間事業者、観光施設等の皆様と盛り上げていきます。都市緑化フェアのイベントとして位置づけます。



④長野県との連携事業（県営烏川渓谷緑地）

隣接する烏川渓谷緑地との連携事業としてノルディックウォーキングを行っています。

国営公園の無料日には、門扉を開放し相互の往来ができるようにしています。



⑤地元との連携

公園が所在する地元の皆様と一緒に自然、伝承文化等に関する市民活動を推進していきます。

連携団体：岩原の自然と文化を守り育てる会、塚原誕生200年地域づくり振興会、安曇野の自然と文化を考える会等。



⑥観光誘客事業

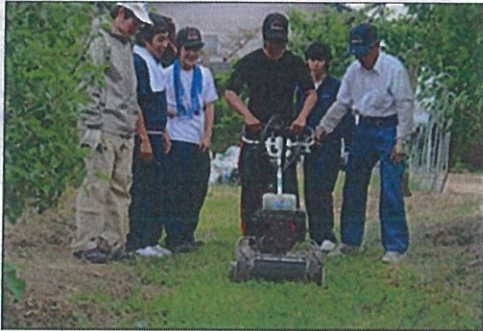
長野県、長野県観光機構、安曇野市観光協会、安曇野穂高温泉郷旅館組合、ペンション協議会等公園を含めた安曇野地域に誘客するために、観光事業者の皆様と連携を図りながら、関東・中京・関西圏等の旅行事業者向けの営業活動を行っています。

「花と緑のみどころ」や「体験施設」の一覧表を作成し、大都市圏の旅行会社に提案しています。

⑦農家民泊事業

主管：安曇野市農家民宿連絡協議会、信濃大町農家民泊協議会、安曇野松川村農家民宿連絡協議会（事務局：アルプスあづみの公園管理センター）

国営公園における地域振興事業の取り組みとして、公園プロデュースによる「農家民泊」事業を行っています。国営公園の他地域の観光施設の立ち寄りも行程に入っています。



⑧安曇野の地域文化伝承や自然資源活用の取り組み

テーマ展示館「あづみの学校」において、安曇野の工芸品「天蚕」を活用したイベントを実施するほか、安曇野地域の景観及びこれをはぐくむ豊かな風土・文化の保全と創出に取り組みます。また、オオルリシジミ保護対策会議や南安曇農業高校等と連携して貴重な生き物やそれをはぐくむ環境を保全・創出しています。



3. 公園の魅力を深める「花修景」

【堀金・穂高地区】植物修景計画

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
チューリップ	■												段々原っぱ
ナハゲ		■											里山文化ゾーン
サバチエス				■	■	■							段々池
ヒマワリ				■	■								里山文化ゾーン
ソバ・アサギ				■	■								里山文化ゾーン
ケイトウ					■	■							穂高口
コスエ						■							段々原っぱ
アイチューリップ										■			あづみの学校
早咲きナハゲ											■		あづみの学校

※現運営維持管理事業者の業務履行期間は2020/1/31までとなっている。

堀金穂高地区では平成26年度に『穂高口』、28年度に『里山文化ゾーン』がオープンし、北アルプスを背景とした広大な敷地を活用した花修景が公園の魅力を高め、お客様に好評を得ています。

1) 春の花修景 チューリップ (信州花フェスタとして 95 から 128 品種、24 から 38 万球へ増加
6月にユリが開花するよう球根を同時植栽)



里山文化ゾーン『ナノハナ』



2) 夏の花修景 里山文化ゾーン『ヒマワリ』



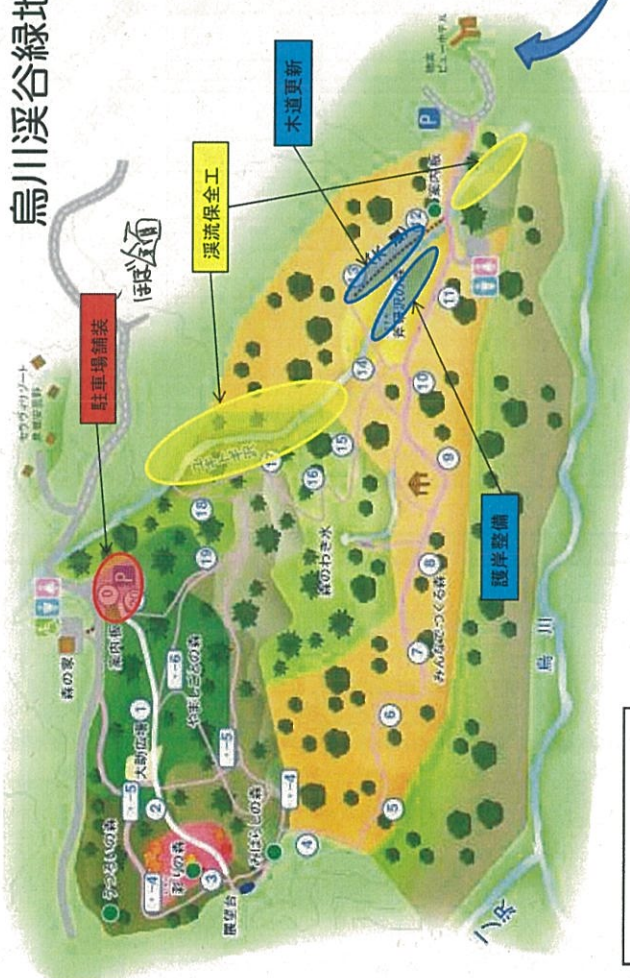
穂高ロケイトウ・サンパチェンス修景



3) 秋のコスモスの花修景 里山文化ゾーンのキバナコスモスと段々原っぱのコスモス



烏川渓谷緑地 工事概要図

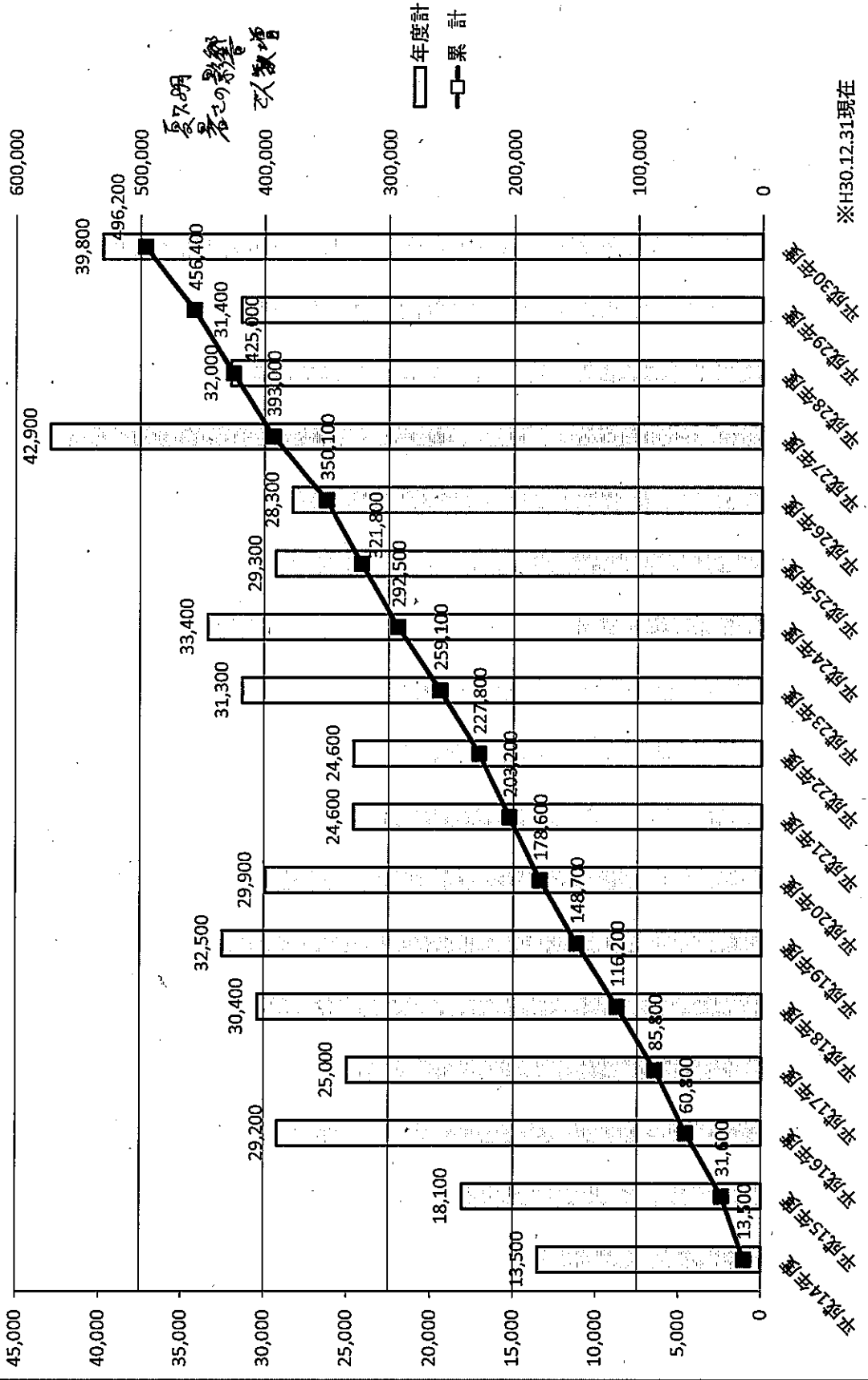


現在施工中

凡例	
■	事業実施済み (H29年度)
■	今年度実施 (H30)
■	来年度以降 (H31～)

烏川溪谷緑地 来園者数 推移

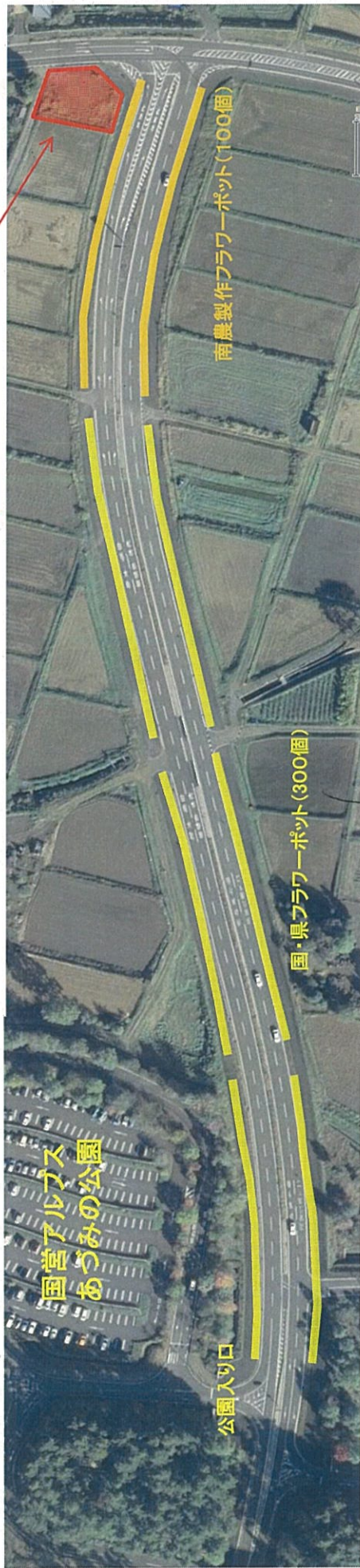
(人・累計)



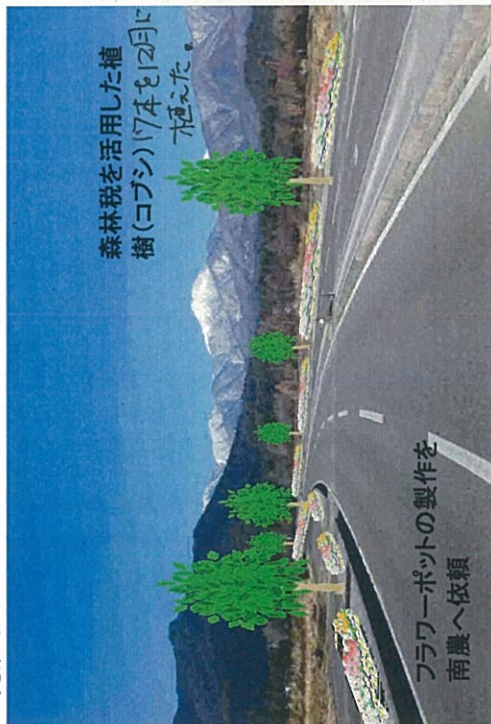
夏7月
暑みの影響
で人数増

第36回全国都市緑化信州フェア 2019(H31)4.25~6.16 に向けた取り組み

信州花フェアスタ2019 ~北アルプスからの贈り物~



完成イメージ



フラワーポット準備状況



石庭製作状況



長野県烏川溪谷緑地 都市緑化信州フェア期間中の行催事等取り組みについて【案】

烏川溪谷緑地 行催事 H30実施状況 及び H31計画(案)比較表

平成30年度 行催実施状況

回数	月	開催予定日		イベント名称		会場	講師
1	4月	21日	(土)	からすの学校	第113回からすの学校 オオルリ観察会	水辺エリア	信州野鳥の会会員
2		28日	(土)				信州野鳥の会会員
3		22日	(日)	市民会議主催	カタクリ観察会	森林エリア	村田 寛 烏川溪谷緑地市民会議 植物班代表
4	5月	20日	(土)	からすの学校	第114回からすの学校 ネーチャー・ウォーキング	水辺エリア	浅川 行雄 地域環境研究室
5	6月	30日	(土)	からすの学校	第115回からすの学校 植物の楽しみ方と写真教室	森林エリア 水辺エリア	いがり まさし 植物写真家

平成31年度 行催事計画(案)

回数	火	開催予定日		イベント名称		会場	摘要/講師	日程調整	その他
		4月 ~ 6月	25日 ~ 16日	(木) (日)	実行委員会	第36回全国都市緑化信州フェア 信州花フェスタ1019	信州スカイパーク 烏川溪谷緑地 国営アルプスあづみの公園		
1		4月	20日	(土) AM	からすの学校	からすの学校 オオルリ観察会	水辺エリア	信州野鳥の会会員	確定
2			21日	(日)	からすの学校	からすの学校 コケ観察会	森林エリア	大石 善隆 福井県立大学准教授	調整中
3			13日~		市民会議 管理事務所	カタクリウィークス カタクリ観察会	森林エリア	市民会議会員 植物班 管理事務所スタッフ	調整中
4			20日	(日) PM	市民会議主催	カタクリ観察会	森林エリア	村田 寛 烏川溪谷緑地市民会議 植物班代表	調整中
5			20日~ 26日		管理事務所	オオルリ・ウィークス オオルリ観察会	水辺エリア	管理事務所スタッフ	調整中
6			27日 28日	(土) (日)	実行委員会	全日本トレイルオリエンテーリ ング選手権大会	水辺エリア	日本オリエンテーリング協 会	確定
7			30日	(火・祝)	からすの学校	からすの学校 オオルリ観察会	水辺エリア	信州野鳥の会会員	確定
8		5月	9日	(木)	実行委員会		水辺エリア		調整中
9			11日	(土)	からすの学校	からすの学校 烏川溪谷緑地の 環境を森林から学ぼう	森林エリア	小山 泰弘 林業総合センター	調整中
10			26日	(土)	実行委員会		水辺エリア		調整中
11		6月	1日	(土)	市民会議主催	森林エリア植物観察会	森林エリア	松田 貴子 安曇野市立 豊科郷土博物館学芸員	調整中
12			2日	(日)	からすの学校	森林療法 森林での活動と森づくり	森林エリア	上原 巖 東京農業大学教授	確定
		6月	12日	(水)	バス会社企画ツアー	苔の道 ガイドウォーク	森林エリア	朝日旅行(大阪)	調整中
			16日	(日)	バス会社企画ツアー	苔の道 ガイドウォーク	森林エリア	朝日旅行(大阪)	調整中



第36回全国都市緑化信州フェア
信州花フェスタ2019
～北アルプスの贈りもの～
2019.4.25(Thu)～6.16(Sun)

イベントプログラム 期間中は楽しいイベントも百花繚乱!

●メイン会場



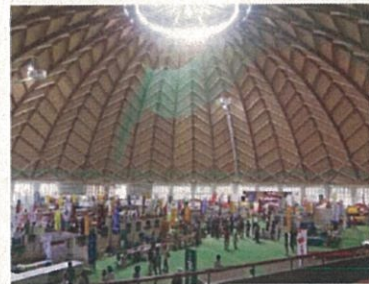
プラントハンター
西畠清順(そら植物園 代表)による
特別企画展

期間●4月25日(木)～6月16日(日)



はなぐるま 1967年
絵本画家
いわさきちひろの世界

期間●5月25日(土)～6月16日(日)



長野県民放テレビ局等
によるイベント

5月3日(金・祝)～6日(月・休)	信越放送
5月11日(土)・12日(日)	エクステリアガーデンフェスタ
5月25日(土)・26日(日)	テレビ信州
6月1日(土)・2日(日)	長野朝日放送
6月8日(土)・9日(日)	長野放送

まるごと信州わくわくデー

県内各地域の特色を活かした
PRブースで魅力を発見

期間●4月27日(土)～29日(月・祝)

長野県PRキャラクター「アルクマ」©長野県アルクマ



花と緑の体験プログラム・ 信州花フェスタ県民ステージ

花や緑をテーマにしたワークショップや、
演奏・ダンスなどのステージパフォーマンス

期間●4月25日(木)～6月16日(日)の期間中随時



●サブ会場



(Mondialer champion)
©JUNICHI KAKIZAKI HANA OFFICE + REALiib.

現代美術家・フラワーアーティスト
柿崎順一による

アート作品インスタレーション(空間芸術)

期間●5月24日(金)～6月2日(日)

場所●国営アルプスあづみの公園
[堀金・穂高地区]



Photo: Joji Okamoto.



植物画家
山田恭子
ボタニカルアート展

期間●5月10日(金)～26日(日)

場所●国営アルプスあづみの公園
[大町・松川地区]



植物写真家
いがりまさしによる
目からうろこの
植物写真術

期日●5月9日(木)・20日(土) (予定)

場所●長野県烏川溪谷緑地



「趣味の園芸」フェア

全国にファンを持つ「趣味の園芸」の講師、矢澤秀成・上条祐一郎等による
園芸講習会などを開催。あの「園芸王子」が信州にやってくる!?

場所●国営アルプスあづみの公園 [堀金・穂高地区/大町・松川地区]

日程	やまびこドーム			屋外エリア																		
	展示エリアA	展示エリアB、C	ステージエリアE、F、G、H																			
4月	25日 木	劇団四季企画展 4月25日(木) ~5月19日(日)	開会式	オープニングセレモニー																		
26日 金	西島清順 × 多肉植物展覧会 常設展示として 通期展開想定		<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> まるごと信州わくわくデー (県内市町村デー) (主催者催事) </div>	<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> メディアタイアップ催事 (SBC信越放送) </div>	県民市民交流催事 週末の展開を想定																	
27日 土						<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> 一般タイアップ催事 エクステリアガーデンフェスタ </div>	一般公募 ステージ催事	県民市民交流催事 緑の少年団														
28日 日									<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> アクティビティ体験フェア (主催者催事) </div>	花緑 交流催事 (体験プログラム) 県内小学校写真パネル展 常設展示として通期展開想定	道の駅 屋外ブース											
29日 月												<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> メディアタイアップ催事 (TSBテレビ信州) </div>	花緑交流 催事(体験プログラム) 主催者プログラムと公募プログラムにより通期で展開を想定	通期で出展者を募集 県民市民交流催事								
30日 火															<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> メディアタイアップ催事 (abn長野朝日放送) </div>	県民市民交流催事						
1日 水																	いわさきちひろ 企画展 5月25日(土) ~6月16日(日)	県民市民交流催事				
2日 木																			<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> シンポジウム 6/4 or 5 </div>	県民市民交流催事		
3日 金																					<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> メディアタイアップ催事 (夢街道フェスティバル) (NBS長野放送) </div>	県民市民交流催事
4日 土																						

花と緑で いざなう 信州での新たな発見・学びと体験

里山で花と緑の「新発見」

信州に在住の趣味の園芸講師との連携で、現地の環境に適した宿根草の園芸品種の通年定植と管理等、新たな視点での花と緑の楽しみ方を提案・提供。

地域の文化・くらし×花・緑

地域の暮らしや文化への理解促進をテーマにしている公園の施設を活かし、信州に縁のある「花と緑の匠」の技(わざ)展&体験ワークショップを展開。

花と緑の雄大な景色×健康アクティビティ・リフレッシュ

北アルプスの勇壮な景色を背景にした緑豊かな公園とその一帯の環境を、健康・リフレッシュ・地域学習等の面からの継続的な活用につながる催事を展開。

北アルプス山麓での花・緑の「新発見」

宿根草を使った新たな「花と緑の楽しみ方」

【趣味の園芸 フェア】

全国にファン層をもつ趣味の園芸講師の監修で新たなガーデン(※)を展開。



※宿根草によるシェードガーデン
北アルプスを望む林床に、アジア原産のクリスマスローズ「チベタヌス」とホスタ(ギボウシ)を中心としたシェードガーデンを整備。



【室内ホスタ展】 4/25～4/29

木陰の多い公園を彩るシェードガーデンの主演、ホスタを入口で展示。様々な葉の色、模様、形のホスタをご案内。



チューリップ・ユリの球根掘り取り体験

本フェアに合わせて植えられたおよそ40万球の球根の掘り取り体験。

6/16 HH



チューリップののちにユリが開花する花畑エリア約950㎡を新たに創出



OM

【花・緑の新発見講座 講習会&トークショー】



大町・松川地区のシェードガーデン監修者 矢澤秀成氏と、趣味の園芸講師陣・ゲストたちによる園芸講習とトークショー。

国営公園各地区で2日連続で開催

OM



「実践寄せ植え上達法」

杉井志織氏 6/7

HH



矢澤氏の「宿根草の寄せ植えづくり」の講習とミュージシャンとの「はなうた」

清水まなぶ氏 6/14

OM



「クレマチスを上手く育てる」

金子明人氏 6/8



「植物を守るために」

草間祐輔氏 6/15

切るナビ 園芸講座

HH

OM

「切るナビ」で知られる上条祐一郎氏が信州の庭の手入れについて「よくある」ご質問にお答えする講座を開催。



上条祐一郎氏

くらし・文化×花・緑

信州に縁ある「花と緑の匠」の技(わざ)展&体験ワークショップ

飾る・彩る

信州のアーティストによる 鉢花と烏川溪谷の素材を活かした インスタレーション作品展示

5/24～6/2 HH



国内外で活躍する長野県出身の芸術家が烏川溪谷の木々の枝や、アルプスを想起させる草花等を使った室内でインスタレーションの作品展示を創作・展示。展示会場内で、作品公開にあわせてのイベントも実施予定。



Photo: Joji Okamoto

千曲市出身 柿崎順一氏

《Idiot, Born to cry》 (c)JUNICHI KAKIZAKI HANA OFFICE +PEALab.

虫の目で見る

虫の目で花を見てみよう 6/7～16
自然観察&写真展 6/8(観察) HH



信州に活動拠点をおく海野和男さんと一緒に「紫外線カメラ」で虫が見た花の世界を学ぶ体験教室の開催。

描く・創る

信州の植物画家が描く花の肖像 5/10～5/26 OM

ボタニカルアート展示&体験

国立科学博物館主催のコンテストでゴールドメダルを受賞した山田恭子氏(塩尻市在住)の作品展示と、本人による描画のデモンストレーションと簡易体験



撮る 植物の楽しみ方と目からうろこの植物写真術

5/9、5/20(調整中) 烏川



烏川溪谷緑地 からの学校の人気講座のリメイク版
講師 いがりまさし氏



動き出す花のお絵かきを楽しもう

5/25、26 OM

動き出す花の絵のなかに思い思いの絵を描けるお子様向けイベント。



5/14～19 HH



ギターの聖地 松本からの贈り物 県産サクラ・マツ枯材のギター 展示とキーホルダーづくり

奏でる スtringラフィコンサート 5/12 HH



絹糸の産地信州で、絹糸を使って糸電話のしくみで奏でる音色で春の花にまつわる曲を演奏。演奏体験ワークショップをセットで開催。

お花畑ストリートライブ (調整中) HH



ナノハナの花畑を背景に、写真術の講師いがりまさし氏がリコーナを演奏。

花・緑&アルプスの眺め×健康アクティビティ・リフレッシュ

公園の新たな活かし方・楽しみ方

自転車で行く

AACR

5/26 HH OM

アルプスあづみのセンチュリーライド

毎年3000人規模の参加のあるAACRを緑化フェアとの連携行事として展開

信州花フェスタ2019サイクリングツアー ～サブ会場とサテライト会場エリアの周遊～

4/29 HH OM

さらにサブ会場とサテライト会場(安曇野・大町)の初夏の景色やまちを自転車で満喫するツアーを催行。

歩く・楽しむ・ふれあう

ゲストと一緒に過ごす 新緑の公園

山や環境にかかわりの深い著名人と一緒に公園を楽しむ体験を通じて、これからの公園での時間の過ごし方を一緒に探ってみませんか。

5/30 HH 烏川

ゲスト 野口健
高所登山経験の知恵とわざの紹介・体験(体験談のミニ講演と参加者との園内散策)

5/28 OM

ゲスト 市毛良枝
日本山岳協会理事 神長幹雄
信州での登山と介護経験から考える日ごろの暮らしと公園(トークショー)

自然のなかで見つける 4/27-28 烏川 HH

第14回全日本トレイルオリエンタリング選手権



自然とふれあう地図スポーツの大会を招致。烏川の魅力と合わせて身体にハンデある人たちも満足できる緑豊かな公園を発信。

ゆっくり・いいところ再発見

安曇野の案内人がいざなう 春の里地里山ガイドウォーク 5/19 6/9 HH



公園を出発地点にして、地元で長けた安曇野の案内人たちが案内する新緑の安曇野を知るガイドウォーク。行きは散策、帰路はバスで少し長め距離の散策を満喫。

1回目 公園～道の駅堀金
または扇町諏訪神社
2回目 公園～満願寺

310129 時点

信州花フェスタ 2019 関連 スタンプラリー概要

信州花フェスタ 2019 の実行委員会主催

○ (仮) メイン会場内&サブ会場-サテライト会場間周遊スタンプラリー

1、スタンプポイント

全 14 地点

■メイン会場 6 地点 屋内:総合受付、北案内所、やまびこドーム

屋外:北アルプスと花の丘、信州彩園、信州暮らしの庭

■サブ会場 4 地点(国営アルプスあづみの公園<堀金口・穂高口>、<大町ゲート>、
烏川渓谷緑地)

■サテライト会場 4 地点(松本市、大町市、塩尻市、安曇野市)

2、実施方式

スタンプポイントにスタンプセットを設置し、集めた数に応じて景品をプレゼント

【景品案:フェアオリジナルグッズ、協賛提供品など】

応募方法は、メイン会場内のみの応募は会場内で景品引換、それ以外は各会場設置の応募箱へ応募のうえ抽選、景品発送。

3、実施期間

2019 年 4 月 25 日(木)~6 月 16 日(日) 53 日間(サテライト会場は各会場の開催期間に準じる)

○信州グリーンシェアスポット スタンプラリー

1、スタンプポイント

県内のグリーンシェアスポット(花や緑を楽しめる施設等)全 50 地点

2、実施方式

各地点にスタンプセットを設置し、集めた数に応じて景品をプレゼント 【景品案:協賛提供品など(上限 2,000 円程度)】

応募方法は、スタンプ台紙を事務局へ郵送、抽選後景品発送。

3、実施期間

2019 年 4 月 25 日(木)~6 月 30 日(日)【予定】

【参考】 信州花フェスタ 2019 の実行委員会以外の実施

●あづみのパークコミュニティ会議 事務局案

1、スタンプポイント

旅館(宿泊施設)、フェアサブ会場(国営 HH、烏川渓谷緑地)、サテライト会場(安曇野市役所、三郷文化公園)、(国営 HH、安曇野市サテライト会場)

2、実施方式

穂高温泉旅館、ペンション、ほりで一ゆーの宿泊日帰り客及びフェア会場でスタンプ台紙を配布

応募方法は、スタンプ台紙をフェア会場内設置の応募箱に、抽選後景品発送。
【景品案:安曇野市ノベルティ、緑化フェアノベルティ、温泉・ペンション等割引券など】

3、実施期間

2019年4月25日(木)~6月16日(日)

●大町市サテライト会場実行委員会 スタンプラリー案

1、スタンプポイント

※情報なし

2、実施方式

スマートフォンアプリ(YORIP:ヨリップ)を使い GPS 機能による市内周遊スタンプラリーを実施

3、実施期間

2019年4月25日(木)~6月16日(日)

●塩尻市サテライト会場スタンプラリー案

(↑メイン会場での企画と重複するため中止)

1、スタンプポイント:メイン会場、サテライト会場(小坂田公園)、観光地(奈良井宿)
1参加賞(記念品)案:オリジナル木曾ヒノキ漆箸

●松本広域連合主催 松本エリア周遊 スマホ de スタンプラリー案

1、スタンプポイント

松本市、塩尻市、安曇野市の各2地点、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村の各1地点、信州まつもと空港、フェア会場、梓川 SA、松本駅、塩尻駅

2、実施方式

スマートフォンアプリ(アプリ名不明)を使い GPS 機能による松本エリアの周遊を促すスタンプラリーを実施。景品応募もスマートフォンから行う。【景品案:FDA 航空券、特産品等】

3、実施期間

2019年4月20日(土)~7月1日(月)

会場概要

名称	信州花フェスタ2019 安曇野市サテライト会場・スポット会場
主催	信州花フェスタ安曇野市実行委員会
コンセプト	“安曇野らしさ”の発見と発信
開催期間	平成31(2019)年4月25日(木)から6月16日(日)まで

サテライト会場 概要

市役所周辺会場

- バラまつり・安曇野ドリンクフェスタとの連携



(2019年5月下旬)

- ハンギングバスケットによる展望デッキ修景



(2019年5月中旬～)

- 巨大モザイクアートの展示



(2019年5月初旬～)

- タペストリーガーデン制作



(イメージ)

- 体験型講習会の開催



(ハンギングバスケット講習会)

- フォトフレームの制作



(イメージ)

三郷文化公園会場

- メリー・ゴーラウンド・ガーデンの整備



(会期中)



(イメージ)

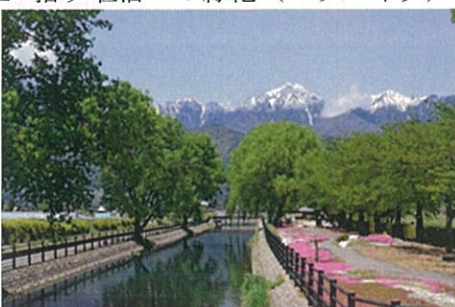
- 記念シンポジウム



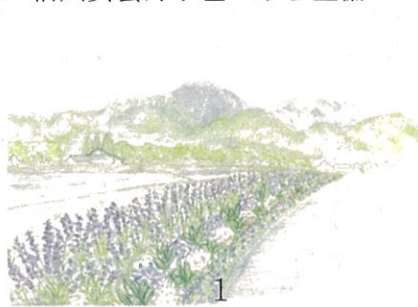
(吉谷桂子氏・2019年4月28日)

スポット会場 概要

- 拾ヶ堰沿いの緑化 (マツバギク)



- 信州安曇野水色のみち整備



- おもてなし花壇整備



1. 信州花フェスタ2019に向けた会場整備に関する取り組み

■市民団体及びNPO団体による寄せ植え



(市役所本庁舎前/H30. 5)

■市民ボランティアによる花壇整備



(国道147号/H30. 10)



(拾ヶ堰/H30. 10)

■市民団体等による花壇整備



(三郷文化公園メリー・ゴーラウンド・ガーデン/H30. 10)



2. 開催に向けたプレ事業に関する取り組み

■開幕1年前イベント



(除幕セレモニー/H30. 4)

■開幕1/2年前イベント



(フラワーアレンジメントショー/H30. 10)

■開幕100日前イベント



(信州フェア企画展/H31. 1)

3. 他のイベント等と連携した取り組み

■第3回安曇野ドリンクフェスタ



(H30. 5)

■安曇野環境フェア2018



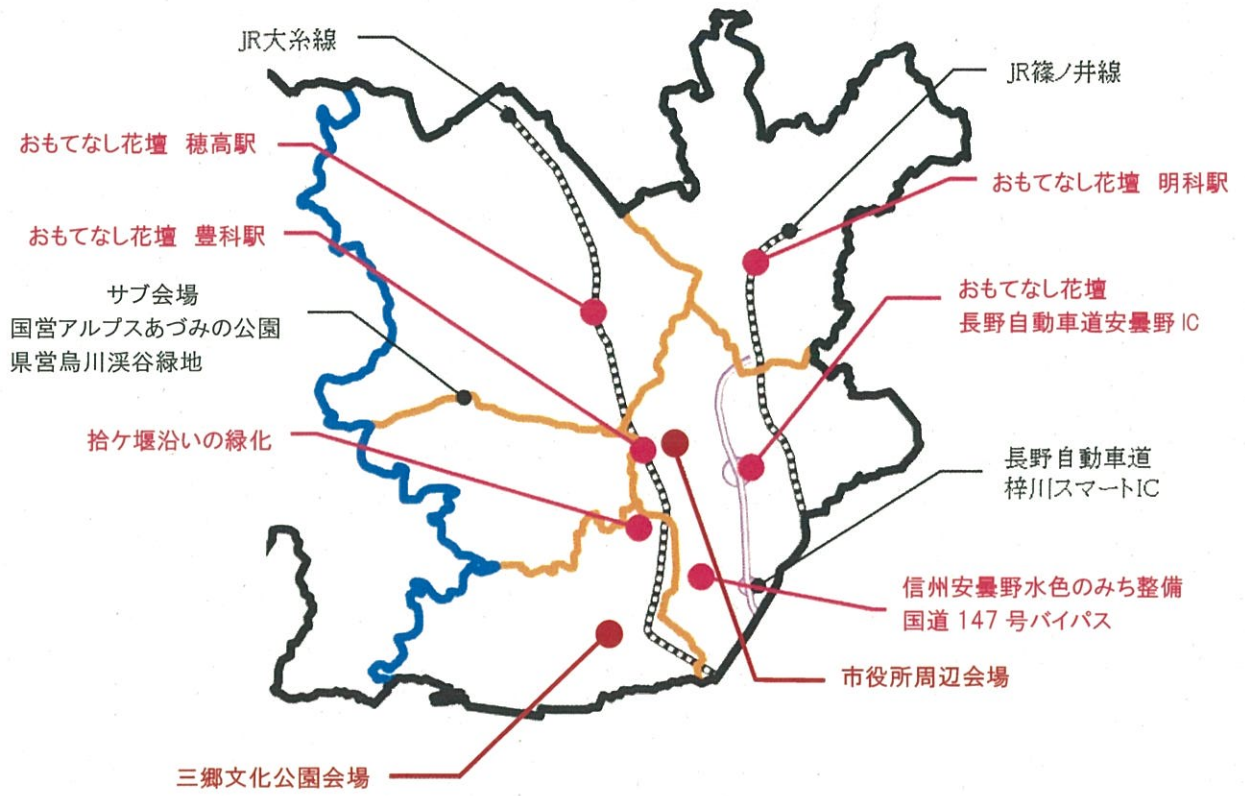
(H30. 10)

■新そばと食の感謝祭



(H30. 11)

安曇野市サテライト会場等の概要



サテライト会場
スポット会場



スタンプラリー開催スケジュール

H31.1.30 都市計画課公園緑地係

事業内容	平成30年度				平成31年度								
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
会議		○1/30 パークコミュニティ会議 (内容、景品、経費、 ポスター・スタンプ台紙・ スタンプの確認)					○フェア終了後～6月下旬 応募箱回収、 パークコミュニティ会議にて抽選						
内容 景品 経費	○1月末 ～2/12 ポスター 発注・納品	○2/15 スタンプ台紙・ スタンプ台紙 発注・納品	○4/8～4/19 応募箱・スタンプ台紙・ を対象旅館宿泊施設に配布・設置	○4/8～4/19 スタンプ台紙・スタンプ台紙 緑化フェア4/25～6/16 スタンプラリー開催					○～8月末 当選者への発送作業等 ペーパー無料(宿泊券・宿泊割引券 ・グッズ等)		○11月末 当選者への発送 作業(特産物等)		
PR等		○2/15～ ポスター 一斉掲示開始											
		○2/18～ 市ホームページ等 PR開始											

全国都市緑化信州フェア開催に合わせたスタンプラリーについて (案) 「信州花フェスタ 2019 スタンプラリー in 安曇野」

【景品】 合計35名

- ・スタンプ3個以上コース 計15名

安曇野穂高温泉旅館組合、安曇野ペンション協議会、(株)ほりで一ゆ～四季の郷のいずれかと緑化フェア会場（①国営アルプスあづみの公園堀金・穂高地区、②県営烏川溪谷緑地、③三郷文化公園、④安曇野市役所周辺）2会場以上で押印。

1位 安曇野の特産物3名及びペア無料宿泊券2名（2組分） 5名

2位 宿泊割引券（10%） 10名

※ペア無料宿泊券・宿泊割引券—安曇野穂高温泉旅館組合、安曇野ペンション協議会、(株)ほりで一ゆ～四季の郷の共通券

※特産物—ワイン、おろし本わさび、野沢菜漬け、特別栽培米2kg、りんご等の季節の果物、フルーツジャム、ドライブルーベリー、虹鱒甘露煮等を8,000円程度で詰め合わせる。

- ・スタンプ2個コース 計20名

安曇野穂高温泉旅館組合、安曇野ペンション協議会、(株)ほりで一ゆ～四季の郷のいずれかと上記①～④の緑化フェア1会場で押印。

1位 宿泊割引券（10%） 10名

2位 朝が好きになる街グッズ、メモ帳・シール等の詰め合わせ 10名

- ・景品の発送については、ペア無料宿泊券・宿泊割引券・グッズは8月末頃までに発送し、特産物は11月末頃までに発送する。

【抽選及び当選発表】

- ・緑化フェア終了後の6月下旬に開催するあづみのパークコミュニティ会議において、構成メンバーにより抽選を行う。
- ・当選発表については、安曇野市ホームページでの氏名の発表及び商品の発送をもって代える。

【スタンプ台紙】

- ・A5両面カラー デザイン案—6、7ページ

【スタンプ】

- ・丸型2cm デザイン案—8ページ

【PRポスター】

- ・B2 デザイン案—9ページ
- ・遠方からお越し頂けるように貼付場所を工夫する。

県外の空港、SA、駅、姉妹交流都市など。

【PR 期間】

- ・インターネット（市HP・市観光協会等）－平成31年2月18日から。
- ・ポスター 平成31年2月15日から。
- ・新聞に記事を取り上げてもらう。－平成31年2月下旬。
- ・SNSの活用。

○経費（収支予定表）

（円）

項目	数量	支出	収入
・スタンプ台紙 A5両面 (210×148) 4×4C コート110k ・応募箱(250× 250×250)	25,000枚 (メインサブで推定 50万人のうち5%) 4箱	<u>140,400 (税込)</u> 130,000 (@日本広告: デ ザイン~データ作成 40,000+印刷料 90,000)	—
・ゴム印 ・スタンプ台小 (HGN-1シヤチハタ) 盤面サイズ 40×63	各40個(3個×4会 場=12個、旅館10 個、ペンション12個、 ほりでーゆ~1個、 予備5個)	<u>39,736 (税込)</u> (@信交社: ゴム印40個+ スタンプ台40個一式)	—
PR用ポスター B2 (728×515) 4C コート135k	70枚(3個×4会場 =12枚、旅館10枚、 ペンション12枚、ほ りでーゆ~1枚、県 外空港・SA・駅・姉 妹都市等35枚)	<u>124,200 (税込)</u> 115,000 (@日本広告: デ ザイン~データ作成 50,000+印刷料 65,000)	—
特産物 詰め合わせ	3箱	<u>24,000 (@8,000×3箱)</u> (産直センター等より)	—
ペア無料宿泊券 キャッシュバック	2枚(2組分)	<u>40,000 (@20,000×2枚)</u>	—
朝が好きになる 街グッズ	10袋	— (観光交流促進課より)	—
郵送料 ・ペア無料宿泊 券、宿泊割引券 ・特産物 ・グッズ	22通(ペア無料宿泊 券2通、宿泊割引券 20通) 3箱 10袋	<u>2,024 (@92×22通・定形 50g以内)</u> <u>6,000 (@ゆうパック 120 サイズ 2,000×3箱)</u> <u>3,800 (@380×10袋・定形 外 500g以内)</u>	—
負担金	国縣市その他5団体	—	<u>260,160</u>
協賛金	スタンプ台紙広告6 枠	—	<u>120,000</u> (@20,000×6枠)
合計		<u>380,160</u>	<u>380,160</u>

○支払い方法

- ・平成30年度分として支払う。
- ・負担金260,160円は「国県市」と「その他の5団体」で折半する。
- ・国県市130,080円→国43,440円、県43,200円、市43,440円を支払い、PR用ポスター124,200円に充てる。
- ・穂高温泉旅館組合、ペンション協議会、観光協会、商工会、ほりで一ゆ〜の5団体130,080円→それぞれ26,016円を支払う。
- ・ポスター支払い残余金5,880円と5団体の130,080円と協賛金120,000円を合わせた255,960円で残りの支払いをする。



信州花フェスタ2019
～北アルプスの贈りもの～



スタンプラリー in 安曇野

2019.4/25(木) - 6/16(日)

安曇野を巡ってスタンプを集めて豪華商品をゲット!

下記5ヶ所のスタンプのうち2個数以上集めて応募してください。(旅館・宿泊施設は必須) ※詳しくは裏面をご覧ください

旅館宿泊施設が必須	国営アルプスあづみの公園 (堀金・穂高地区)フェアサプ会場	県営烏川渓谷緑地 (フェアサプ会場)	三郷文化公園 (フェアサテライト会場)	安曇野市役所周辺 (フェアサテライト会場)

スタンプ設置場所案内MAP



安曇野穂高温泉旅館組合

- 割烹旅館天満閣 ● 割烹旅館山彦
- 小岩岳旅館 ● 山荘歩けつと
- ダイヤモンドあずみ野温泉ホテル
- 穂高の宿松栢 ● 穂高ビューホテル
- ホテルアンビエント安曇野
- 湯の宿常念坊 ● 旅館山のたご平

安曇野ペンション協議会

- お宿たんたん
- セミナーハウス 花村
- ペンション あるかす
- ペンション ウィング
- ペンション KEYAKI
- ペンション ハーヴェスト
- ペンション 花ことば
- ペンション メープルリーフ
- ペンション ラリーグラス
- リゾートハウス クラレット
- ログペンション さかい
- ろっち 安曇野遊人

スタンプラリー in 安曇野のご案内

- 実施期間 2019年4月25日(木)から2019年6月16日(日)
- 応募方法 表面に記載のスタンプ設置施設を宿泊利用し、かつ表面对象フェア会場を巡り希望コース分のスタンプを集め(台紙は表面記載施設及び対象フェア会場にあります)、必要事項を記入し、対象フェア会場設置の応募箱に入れて下さい。
- 抽 選 緑化フェア終了後にスタンプラリー実施主体「あづみのパークコミュニティ会議」において厳正に抽選します。
- 当選発表 当選者の発表については、安曇野市ホームページおよび、商品の発送をもって代えさせていただきます。(秋頃までを予定)
- 注意事項 宿泊施設・各会場とも休館日および実施日以外はスタンプラリーを開催しません。
- 応募コース・商品紹介

スタンプ3個以上コース...15名
(宿泊施設とフェア2会場以上で押印)

1位 安曇野の特産物 または ペア無料宿泊券 5名	2位 宿泊 割引券 10名
--	-----------------------------------

スタンプ2個コース...20名
(宿泊施設とフェア1会場で押印)

1位 宿泊 割引券 10名	2位 朝が好きになる街 グッズ詰合せ 10名
-----------------------------------	--

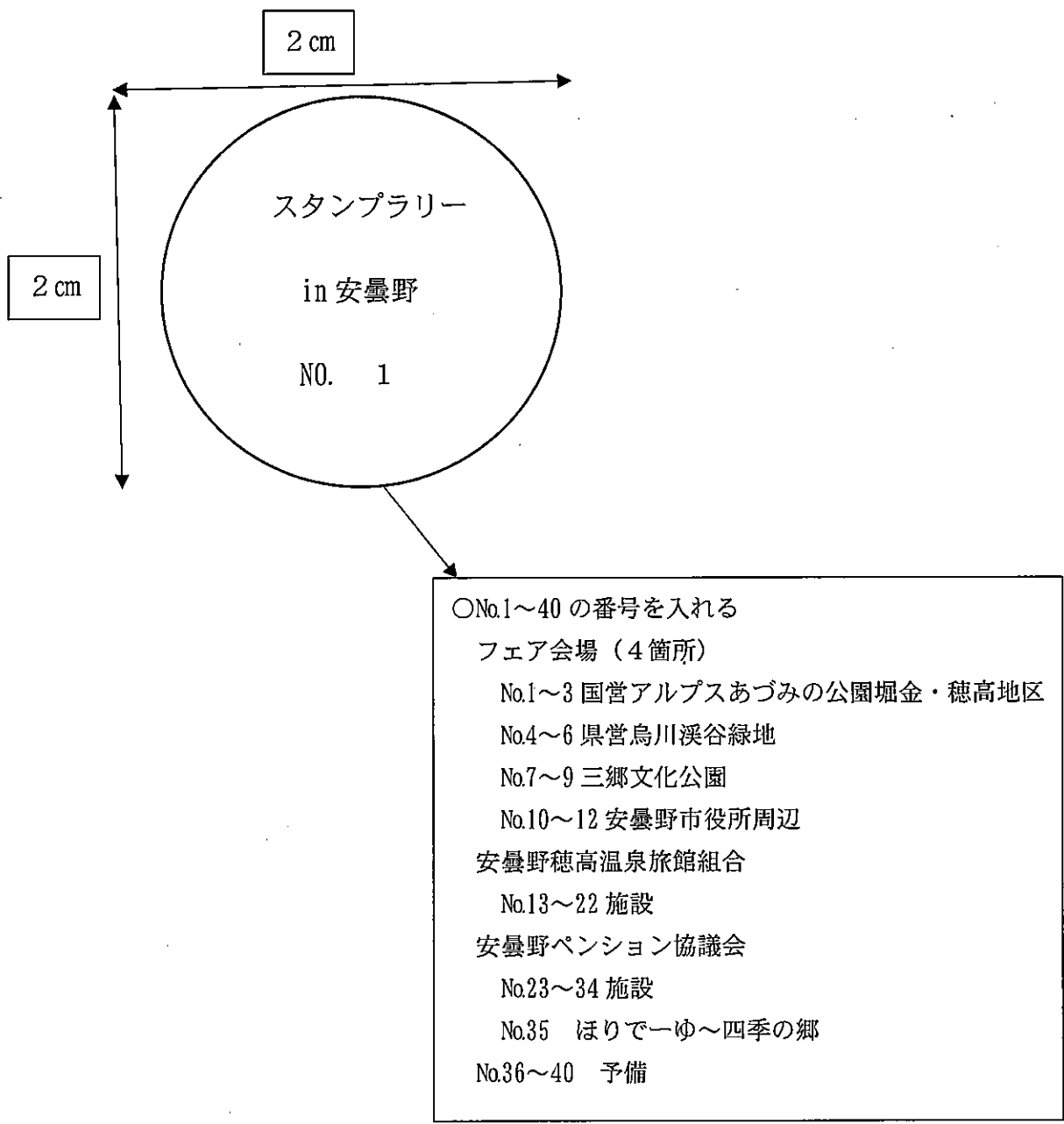
フリガナ			性別	年齢
お名前			男・女	歳
ご住所	〒 都・道 府・県			
	(ビル・マンション名)			
電話番号	(自宅)	(携帯・スマートフォン)		

※個人情報については当選者の商品発送のみに使用させていただきます。また、当選者の氏名は安曇野市ホームページに掲載しますのでご了承下さい。

【主 催】あづみのパークコミュニティ会議
【お問合せ】あづみのパークコミュニティ会議事務局/安曇野市役所 都市建設部 都市計画課 0263-71-2249

協賛者広告	協賛者広告	協賛者広告
協賛者広告	協賛者広告	協賛者広告

スタンプイメージ図





信州花フェスタ2019
～北アルプスの贈りもの～



スタンプラリー in 安曇野

2019.4/25(木)-6/16(日)

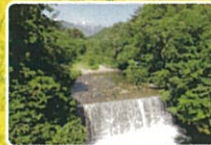


安曇野を巡ってスタンプを集めて豪華商品をゲット!

下記5ヶ所のスタンプのうち2個数以上集めて応募してください。(旅館・宿泊施設は必須)



① 国営アルプスあづみの公園
堀金・穂高地区(フェアサブ会場)



② 県営烏川溪谷緑地
(フェアサブ会場)



③ 三郷文化公園
(フェアサテライト会場)



④ 安曇野市役所周辺
(フェアサテライト会場)



⑤ 旅館・宿泊施設
※必須

安曇野
穂高温泉
旅館組合

1. 別荘旅館天満閣
2. 別荘旅館山彦
3. 小岩岳旅館
4. 山荘歩けっと
5. ダイアモンドあずみ野温泉ホテル
6. 穂高の桜松柏
7. 穂高ビューホテル
8. ホテルアンビエント安曇野
9. 道の宿常念坊
10. 旅館山のたこ平

安曇野
ペンション
協議会

1. お宿たんたん
2. セミナーハウス 花村
3. ペンション あるかす
4. ペンション ウィング
5. ペンション KEYAKI
6. ペンション ハーヴェスト
7. ペンション 花ことば
8. ペンション メープルリーフ
9. ペンション ラリーグラス
10. リゾートハウス クララレット
11. ログペンション さかい
12. ろっち 安曇野遊人

ほりで一ゆ〜
四季の郷

■実施期間 2019年4月25日(木)から2019年6月16日(日)

■応募方法 上記に記載のスタンプ設置施設を宿泊利用し、かつ上記対象フェア会場を巡り希望コース分のスタンプを集め(台紙は上記施設及び対象フェア会場にあります)、必要事項を記入し、対象フェア会場設置の応募箱に入れて下さい。

■抽選 緑化フェア終了後にスタンプラリー実施主体「あづみのパークコミュニティ会議」において厳正に抽選します。

■当選発表 当選者の発表については、安曇野市ホームページおよび、商品の発送をもって代えさせていただきます。(秋頃までを予定)

※個人情報については当選者の商品発送のみに使用させていただきます。また、当選者の氏名は安曇野市ホームページに掲載しますのでご了承下さい。

■注意事項 宿泊施設・各会場とも休館日および実施日以外はスタンプラリーを開催しません。

■応募コース・商品紹介

スタンプ3個以上コース...15名
(宿泊施設とフェア2会場以上で押印)

1位 安曇野の特産物
または
ペア無料宿泊券
5名

2位 宿泊
割引券
10名

スタンプ2個コース...20名
(宿泊施設とフェア1会場で押印)

1位 宿泊
割引券
10名

2位 朝が好きになる街
グッズ詰合せ
10名

【主催】あづみのパークコミュニティ会議

【お問合せ】事務局/安曇野市役所 都市建設部 都市計画課 0263-71-2249



スタンプカードは
上記スタンプ設置
フェア会場・
スタンプ設置宿泊
施設にごびます。

全国都市緑化信州フェア開催に合わせたスタンプラリーについて（概要）

○名称「信州花フェスタ 2019 スタンプラリーin 安曇野」

○目的

国営アルプスあづみの公園堀金・穂高地区、県営烏川溪谷緑地、及び安曇野市内の地域活性化のため、また、コミュニティ（共同体）の形成を図るため、平成31年度4月から6月に開催される全国都市緑化信州フェアの開催期間に合わせ、あづみのパークコミュニティ会議が主催になり実施する。

○実施期間：平成31年4月25日（木）から6月16日（日）までの緑化フェア開催期間

○実施方法

- ・安曇野穂高温泉旅館組合、安曇野ペンション協議会、(株)ほりで一ゆ～四季の郷の宿泊客にスタンプ台紙を配布する。
緑化フェア会場（①国営アルプスあづみの公園堀金・穂高地区、②県営烏川溪谷緑地、③三郷文化公園、④安曇野市役所周辺）でスタンプ台紙を応募箱の近くに置き、持って行ってもらう。
- ・スタンプ台紙には広告枠を設けて、協賛金を募る。
- ・安曇野穂高温泉旅館組合、安曇野ペンション協議会、(株)ほりで一ゆ～四季の郷と緑化フェア会場（上記①～④）に設置したスタンプをスタンプ台紙に押印して集める。
- ・スタンプは安曇野穂高温泉旅館組合、安曇野ペンション協議会、(株)ほりで一ゆ～四季の郷で1つ（必須）と緑化フェア会場（上記①～④）で1つの最低2か所は押印する。（安曇野穂高温泉旅館組合、安曇野ペンション協議会、(株)ほりで一ゆ～四季の郷のいずれかの押印がないと応募資格なし。）
- ・スタンプ台紙に必要事項を記入して、緑化フェア会場（上記①～④）内に設置する応募箱に入れる。緑化フェア終了後の2019年6月末頃に開催するあづみのパークコミュニティ会議において、抽選で当選者を決める。

○景品

スタンプ3個以上コース 計15名

1位 安曇野の特産物3名及びペア無料宿泊券2名（2組分） 5名

2位 宿泊割引券（10%） 10名

スタンプ2個コース 計20名

1位 宿泊割引券（10%） 10名

2位 朝が好きになる街グッズ、メモ帳・シール等の詰め合わせ 10名

○費用負担

「国県市」と「安曇野穂高温泉旅館組合、安曇野ペンション協議会、安曇野市観光協会、安曇野市商工会、(株)ほりで一ゆ～四季の郷」で2分の1ずつ負担する。